五月十五日 英學生之友 臨時增刊

受驗準備一ケ年號

▲大正十年度の英語成績評、受驗生の缺陷、受驗準備の仕方答案の作方、答案の書方
▲一般受驗者に對する注意
▲試驗問題が一變した事に注意せよ
▲英語學習法と試驗問題
●和文英譯指南車
●受驗生の缺陷
●英語準備の仕方

特別大附錄 受驗準備日記 ポケット用八十八頁

■四年修了生と卒業生との成績比較（浦和四高長、渡邊七高長、菊池一高長）
▲譯語は逐語的に精密なれ
▲將來の受驗者に對して
▲英語入學試驗の準備
▲高等學校入學試驗委員の成績評 文部省

（定價金五十錢 郵稅二錢）
發兌 東京神田 株式會社 三省堂 振替東京三二五五五

最近思潮叢書

—刊行書目及著者—（全十二冊）
最近思潮 文學士 鈴木俊行
最近宗教學 文學士 石橋智信
最近教育學 文學士 入澤宗壽
最近社會學 文學士 赤神良讓
最近倫理學 文學士 伊藤恵
最近美學思潮 文學士 瀧村斐男
最近社會思潮 文學士 太田善男
最近文藝思潮 文學士 茅野儀太郎
最近心理學 文學士 入谷智定
最近文化科學 文學士 平松時賢
最近自然科學の發達 文學士 三上義夫
最近歷史學 文學士 今井登志喜

顧問 文學博士 井上哲次郎 文學博士 桑木嚴翼 文學博士 吉田靜致
—編輯主任— 文學士 石橋智信 文學士 入澤宗壽 文學士 瀧村斐男 文學士 鈴木俊行

清新の氣横溢せる本叢書の特價提供 現實諸相闡明の鍵鑰！ 讀書界驚異的の收穫

曠古の世界大戰は啻に地理的人種的の偉觀たりしに止らず人類の文化的生活の基調に於て史上曾てなき恐怖的進展の機因を釀し人類創生の太初より冀望せる崇嚴神聖なる平和は遂に其顯現の機を失し再び惱亂と恐怖との戰慄の悲歌を響かすに至り即ち思想界の恐怖的混亂となり社會問題、勞働問題、危險思想問題、生活問題等相次いで繼起し來れり是れ即ち現代人の混亂せる生活、思想を表現せる悲痛なる叫びにして決して單なる喧噪と猥雜とを誅るものに非ず本叢書は即ち是等現實の諸問題を洞察詳明するに充分なる最新の學說を新進氣鋭の學者が高邁なる學識と遠大の識見とを以て執筆せられたるものにして最大の確信と責任とを以て遍く江湖に薦むるに躊躇せざるなり

○全十二冊 四六版總布上製箱入 新式ポイント組各冊約四百頁 定價各金三圓 送料十二錢
○特價販賣 申込期日迄に全部十二冊の豫約者に限り各冊 特價二圓五十錢 送料十二錢
○特價代金拂込方 十二冊分の特價三十圓を毎月三圓宛十個月拂込み跡二個月は拂込なしで送本する事（但し第一回の會費は申込と同時に拂込む事）
○送本 大正十年六月より毎月一冊宛刊行し滿十二個月を以て完結す
○申込期日は六月五日期限後は即時絶對に定價に復す
▲詳細見本及規定御申越次第進呈▼
發行所 東京神田南神保町 振替東京一九三三 電話九段一四二五 日進堂

京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番、長六千九番二 振替京城三〇〇番
發行兼編輯人 大和田武 印刷人 小川三之介

漢學講義錄

◎新學期開講會員大募集 ◎一年卒業 ◎特典提供 ◎添削無料
見本付會則無代進呈 ◎文章軌範、論語、孟子、唐詩選 ◎日本外史 ◎故事熟語 ◎作詩法 ◎作文法 ◎其他十數課目
東京市麴町區今川小路二丁目 振替口座東京一二九四〇番 帝國漢學普及會

株式名義書換停止
六月一日ヨリ定時總會終了ノ日迄
朝鮮製紙株式會社

出版案內
朝鮮行政法 送共三圓三十五錢
風俗習慣傳說迷信 朝鮮奇談と傳說 送料共一圓十八錢
是非一讀すべき名著 朝鮮の匂ひ 送料共二圓五十錢
中學商業高等女學 入學試驗問題答案集 送料共九十六錢
コロタイプ版 風俗風景 朝鮮寫眞帖 送料共五圓
コロタイプ版 朝鮮國寶大觀 送料共三圓九十錢
京城本町 振替京城 株式會社ウツボヤ出版部

京城本町二丁目（郵便局前） 中村眼鏡店 電話二七番 振京二四〇

仁川 佐藤病院 電話四〇九番 院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎 入院應需

英語講義錄

齋藤秀三郎先生監修
齋藤校主の嚴密なる監督の下に正則英語學校講師一同各得意の部門を分擔執筆せる古今獨步の理想的新講義錄
內容の充實、組織の整然、說明の懇切、價格の低廉總ゆる點に於て類書を凌駕せる本校講義錄
今日即刻絶對に信頼すべき本講義錄により確乎不拔の基礎を築かれ以て活社會に處し雄飛の實を擧げられんことを
會費 各級僅六ケ月 一ケ月參拾五錢 全五學級 一學期一圓九十五錢
▲何時入會するも一號より發送
第廿回新學期開講會員大募集 目下入會の絶好機 講義見本つき會則無進呈（電話又は端書にて申込め）
東京神田三河町一丁目 正則英語學校講義錄發行所 電話神田長二〇四五番 振替東京二六八二八番

最新刊

教育改造の原理 水野芳夫著 二、二〇〇
實際的新主張 二、三一〇
ゲーリ學校の實際 二、七〇
消費組合運動 二、七五〇
鐵笛倒吹講話 三、三〇〇
創作への道 三、五三〇
大阪屋號

防虫用 金網 米國製青金三尺巾 安價提供 京城本町三丁目 近藤安吉商店

金もうけ

誰れでも無資本同樣の小資本で直ぐ其日から意外の大金儲の出來る永久的獨占新事業藥品應用の製造秘法を公開せる工藝化學の內容書一冊無代進呈 至急申込あれ 今特典有 ハガキで 東京市本鄉區 日本通信藥學校

再版 三版 土地建物 利殖の智識 アメリカ式貯金法
全一冊數百頁 郵送料共代金引換も可 全一冊定價金六十五錢也 送料共代金引換も可
東京市牛込區河田町十一 通俗經濟叢書專門發行 日本經濟協會 電話番町二〇九五番 振替東京三七三八番

貯金のすゝめ 資金運用秘傳

貯金の工夫と財產を殖やす研究
◎第十版製本發賣 全一冊數百頁 定價送料共一圓五拾錢 切手一割增 代引一圓七十八錢
本書が行以來各學校、諸官省は勿論銀行、會社等より注文殺到し實に第十版を發賣するの信用を得たり、本書には地方でも金儲け都會での貯金の成功法などの案內がしてある上に財產を安全に殖やす法等が全篇十四章數十項目に分ちて十二分に說明がしてあるので一種の財產殖教科書とも云ふべきものである已に本書を讀んで成功した人も澤山あつて禮狀が來て居るに依つて更に貯金實行の爲、今回は特別に送料共前金一圓五十錢代金引換を望むものにはハガキで申込めば一圓七十八錢で送る、

徽章製造
會員章 紀念章 賞牌 メタル 帽章 職工徽章 自轉車 マーク 名札
會社、商店員の胸章（會員組織の會員章）運動會共進會、品評會等に於ける賞牌數十萬種一般メタル學生其他帽章類、造船所鐵工所等の多數の職工を擁せる大會社の工場（職工胸章（特に青年會員記章製造は一段の勉強を加ふ）
金銀美術工藝品 メタル、徽章、賞牌 金銀盃、洋盃、木盃 製造卸小賣販賣
外ニ金モール製帽章製造
橫濱市本町三丁目 電話本局二〇三九番 振替東京二八九五二番 鴻池美術店

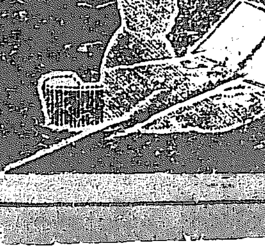
英語暗記辭典

▲是れ迄に全然類の無い英語暗記辭典出づ!!
正則英語學校講師 本多孝一先生新著
新案 英語暗記辭典 洋裝三六版五百餘頁 定價金貳圓 郵稅金六錢
特色
1. 本書は著者が多年の研究に依り案出せる特殊の排列と最新なる工夫とより成り他者の全然摸倣し得ざるものにして普通辭典より數十倍の實力を與ふ。
2. 故に本書を使用する者の學力は忽ちにして他を凌駕し優秀の學績を擧ぐる事は信じて疑はざる所なり。
3. 尚本書に依れば自己の既知せる語數の何千何百何十何語なるやを容易正確に知る事を得。
▲本書に依り現代活用語の全部を暗記せよ!!
東京日本橋本石町三 文盛堂發行 振替東京三〇九〇番

日本から日本へ

德富健次郎と愛

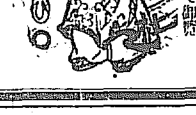
大正八年正月廿五日東京粕谷の幽居を立つて大正九年三月八日歸國に至つた德富夫婦の世界一巡記で東西二卷に分れ東の卷には「日本から」「水の上」「埃及」「猶太のふるさと」西の卷には「伊太利」「佛蘭西」「瑞西」「獨逸」「白耳義から佛蘭西へ」「英吉利」「北米合衆國」「日本へ」「日本」との前後十三篇に分れ世界大戰の創痍を背景にした各國の自然と人事とが博大な愛の目から觀察して記述されてある、そして各ページに十字架を失うて日輪を得た著者夫妻の「心」が流れて讀者を日本の國土に、羅馬の藝術に、伯林の黑パンに、或はエルサレムの光明十字に、ナザレのふるさとに、抑も亦巴里の月花に限りなき思慕の心をよせしめ、殊に「日本へ」の項には人人をして世界の隅の項に走せ加はらしめ悄然が溢れて居る （大阪時事）



東の卷 六百十八頁
西の卷 八百三十六頁
天金紫羽二重表紙箱入 六號活字橫組新四六版
正價 東の卷西の卷共 各金五圓宛
送料 一冊に付 二十七錢宛

發兌元 東京市日本橋區大傳馬塩町番地 金尾文淵堂 電話浪花 振替東京

規定 趣旨
此廣告揭載の日から十日間內にハガキにて住所氏名明記して解答して下さい當つた方には當週間內に御通知します
發賣擴張開業週年記念として正解者に寶石入金指輪五百個を高刻指環五百個を賞數送料にて提供す委細は通知します
東京市京橋區木挽町二丁目十三 申込所 京榮社 懸賞係



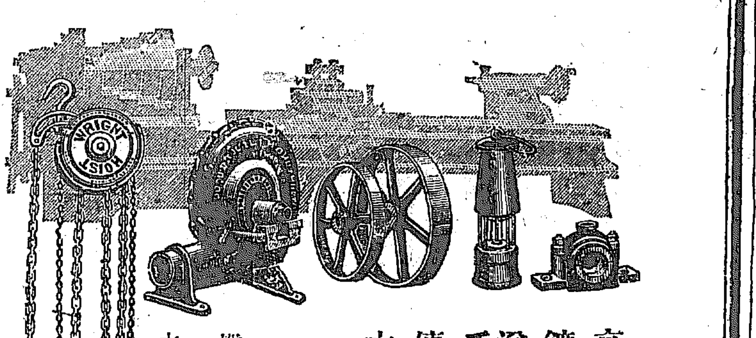
問題
おもしろき字探し 御覽下さい當てゝ
金指輪千個提供
左の福神の給の中に本字三文字と外に五文字の假名文字がかくしてあります何と云ふ文字か當てゝ御覽

仁川宮町 內科小兒科 外科花柳病 松本醫院 ×光線科電氣科 電話三四五番

強 安 タイヤ 耐久力卒理 チューブ 同壱年 ... 其他上中下種々有之候 28時の二種あり小包料實費申受カタログ切見本申越次第送呈
大阪西區北堀江御池通六丁目 大阪ゴム製造所 電話... 振替大阪二七〇五番

京城自動車學校

生徒募集 學則送呈
京城府黃金町三
運轉手技手販賣員養成 毎月一日十六日開始 一ケ月卒業 學數合計百卌三個 前納就職紹介何人も成功
姉妹校 東京市京橋區 東京自動車學校 京城ニ鮮語教授ヲ設ク 其他ハ大改良施行 懇切丁寧
福岡市中島町 福岡自動車學校 大阪市 大阪自動車學校



高級諸機械
鑛山用ランプ
送風機
チエーンブロック
傳導裝置用品
木工用機械
一般計器及パッキング各種工具類
福岡郵便局私書函第三號
機械商 株式會社 谷商店 福岡市下店屋町
本年度カタロク贈呈

佛國の對英反感

【巴里二十日發電】マタン紙は佛蘭西が將來歐州の覇權を握れる曉は英國との提携を破棄するに至るべしと云ひ冷淡なる態度を示しベルヂマスク氏はエコード、パリ紙に於て若し英國が佛國の國防的立場を危うからしむるに於ては佛國に於て英國の立場を顧る能はずと激語せり

葡國に革命突發

【倫敦二十三日發電】モーニングポスト紙のリボン特電に曰くポルトガルマカド內閣は軍閥派の運動の結果倒れたり各聯隊は一箇所に集中され二十一日早朝將校會議は內閣の總辭職を要求せりドワイゴーよりの來電に依ればマカド氏其他の閣員は全部投獄されたるが今回の革命はコンドニオ、ベエスの殘黨の起せるものにてドザントス氏首相に任命さる

法王愛蘭問題の暴力中止を勸告す

【ダブリン二十一日發電】法王ベネヂクト十五世は愛蘭主教ローダ大僧正に書翰を寄せ英蘭及び愛蘭に暴力の中止を勸告し愛蘭問題は愛蘭と國民全體の選出する團體に依りて解決すべく提議せり法王は同時にローグ僧正の手を經て愛蘭白十字救會に二百萬リラを寄附せり

墺國廢帝の退去

【ゼネヴァ二十一日發電】墺國廢帝カールは瑞西官憲に對し八月にスヰスを退去する旨通告せるも其の行先は何等言明する所なし瑞西政府は此の通告に接して稍安堵せるもの、如し

戰爭責任調査案

【華盛頓二十一日發電】イクノイズ州選出下院議員エム、エー、マイケルソン氏は議會特別委員を設け米國をして大戰の渦中に投ぜしむべく宣傳せる人々を調査すべしとの建議案を下院に提出せるが同決議案は既定通り委員附託となれり

土地會社登記出訴

【內妙市二十一日發電】州務長官ヒンクル氏をして是非共日本土地會社の會社登記を受諾せしめん爲め山下琢治氏は州最高法院に對して命令狀の下附を請願せるが同法院は之を拒絕せり山下氏は更に之を裁判所に控訴すべく控訴の趣旨は右會社の株主が悉く歸化米人なりと云ふにあり

一カ軍將士排日言動

【浦鹽發電】共產黨並に過激主義に對する各地方人民の信用が著しく薄らぎつゝあるは顯著なる事實なるが一面カ軍將校其他非共產派間に於ても漸く排日的言辭を弄するもの增加しつゝあるとも注意すべき現象と言はざるべからず卽ちラズドハノイ滯在中の『カ』軍モルチヤノフ中將の部下エヒモラ大佐の如きも過般某露人に對し『吾人は日本軍の駐在を認めず多忙法會議を承認するものなり日本軍は早晩西伯利より撤退すべし撤退せざれば我等露西亞人の手により當然撤退せしめざるべからず』と言ひ又四月七日夜右『モ』將軍派のウオトンスキー聯隊將卒は演藝會の席上に於て『外國の干涉を除く、日本軍を驅逐せよ』との意味を含める唱歌を合唱せりと

日米水兵衝突事件
國際問題を惹起せんか

【上海二十三日發電】日米水兵衝突に就き山崎總領事は極力一般居留民の鎭撫に努むると同時に一方米國總領事と會見今後の處置に關し意見の交換を爲し事件の調査を爲し居れり 日本人側目下の所平穩なるが米國側より逆襲の虞れあり不安の念に驅られ居れり我海軍にては上陸水兵の單獨行動を許さず夜間の上陸を禁止せり米國側にては二十三日米國領事館にて米國水兵に對する裁判ありたるが何れも罰金に處せられ尙此の日工部局警部は證人として出廷し日本側に有利の證言を爲せり

間島鮮人と基教

間島に於ける耶蘇教徒の中堅たる龍井教會の信徒は在留宣教師との間に意見の衝突を來し信徒は外人の經營せる中學校へは生徒を入學せしめずと決議し別に中學校を設立し昨今生徒收容に努むるに自給獨立せんとするより外人の意見行はれず鮮人の新思想と宣教師の舊思想と衝突を來し遂に外人と布教上の關係を絕つに至らんとするが如し若し此の思想の間島全般に彌漫する時は加奈陀長老派の蒙る關係は少からざるに就き遂には宣教師の朝鮮內地に引き上ぐるに至るやも圖られずとの風說あり（間島電報）

滿鮮重要會議內容
政府部內某大官談

滿鮮首腦會議の內容に就き政府部內に支那通との稱ある某大官は語る『今回の滿鮮首腦會議は對支對露政策の變更豫備にあるに非ずして實は勸もすれば杆格せんとする外交軍事拓殖三當局の統一を確保せんが爲各當局者間に意見交換の機會を與へたるに止まり政府の對露對支政策は世間傳ふるが如く決して變改すべきものに非ず而して今回意見交換の主題とする所は對支關係に於ては

（イ）西原借款を始め各種善後策
（ロ）團匪賠償金殘部の處分
（ハ）鮮支國境の不逞鮮人取締
（ニ）山東還附問題
（ホ）金融機關の統一聯絡

對露關係に於ては

（イ）西伯利撤兵問題
（ロ）東支鐵道問題

支那問題中

（い）支那を輔けて借欵を容易ならしむべし
（ろ）列國中に之が權利を拋棄すべしと云ふものあるも米國は是を以て在留支那學生の給養に充當すべし
（は）支那と軍事の協約を締結するも其一方法たるべし
（に）一昨年來屢々內田外相の聲明したる所に就き何時にても支那の交涉に應ずべし青島居留地の如き又內田外相の聲明の如く列國の共同居留地設置說を除いては是れを考慮するに吝かならざるべし
（ほ）卽ち滿鮮に於ける現狀は東拓鮮銀陸軍の外正金も加はり金融機關互ひに連絡統一を欽如するが故に之を統一する要意

次に對西伯利問題中

（イ）は從前の聲明の如く支那政府に國境警備の實力乏しければは西伯利の秩序維持すべき見込み確實となるを俟つて撤兵するを大方針となすべし
（ロ）の東支鐵道に對しては更に相當金額を投資するを可とすべきこと

に各自大體意見一致したるを以て之より更に閣議に問ひ外交調査會に附議すべく總てのことは其の手續きを經たる上愛に決定する筈なり云々（東京電報）

奉天省金建反對
支那商人聯合會決議

奉天省內支那商人は聯合協議會を開き舊曆五月一日迄に金建を撤廢せざるに於ては支那商人は一切取引を中止し且つ日本商品を購入せずに決議せり（東京電報）

鮮人醫學者の社會的地位向上
現下刀圭界の一問題

朝鮮問題解決の一方法として鮮人教育と云ふことが識者間に注目を呼びつゝある際茲に鮮人醫學者の社會的地位の向上と云ふ件に就て最近我醫學界の有力なる一部が何等か當局に訴へんとしつゝあり又一方に在京の鮮人醫學者と在鮮醫學者と共に當局に陳情書を提出し其諒解を得んと計畫中なりと（東京特電）

米穀需給委員會
愈農商務案に決定 廿四日具體案發表

二十三日開會の米穀需給調節初委員會は意見續出し夜十一時二十分に至り漸く散會せるが結局農商務省案に決定し二十四日の閣議に附したる上二十四日午後四時を期し具體案を發表する事となれり（東京電報）

蒙古に中央銀行設置運動

滿洲金融界の不況を救濟すべく金融策を講ぜられたしとの趣旨を以て奉天より實業團代表原口聞一、鶴岡永一郎、松宮幹樹氏上京し山縣關東廳長官、赤池總督、滿鐵當局者等と協議し係當局にも運動の手筈なるが大連の金建反對運動は重要なる問題なりとし此際資金を融通して財界を救濟すると共に滿蒙開發の根本的金融策を講ずるため中央銀行を設置すべしと云ふにありて本計畫の實行は銀建不可なりとの意見なれば政府當局も此點は同意見なるが如し（東京電報）

樺太油田有望

海軍省依託の北進會にて樺太油田試掘中ヤイオーニテ三十二間堀下しに重油十石を得更に百十六間迄堀下げ益噴出す尚他の箇所にて豫定二千尺を七月に着手すべく六月初旬農商務省派遣技手各省技師よりなる調査隊は樺太全部に亘り油田の地質調査をなす筈なりと（東京特電）

齋藤總督より朝鮮全圖を獻上

朝鮮總督府にては高等土地調査事業も完成したるに就き土木部に於て五萬分の一の實測朝鮮全圖調製中なりしが表裝等特別入念のものを畏き邊に獻上する筈にて二十五日到着するを以て滯京中の齋藤總督より右獻上の手續きに及ぶ由なり（東京電報）

亞港勞働者過剩
陸軍當局談

亞港方面への渡航者は軍事關係者以外に於て其後益增加し四月二十日より三十日迄の渡航者實に一千名其後五月一日より十二三日迄に既に內地人三千名其他四百名に達し其後更に增加しつゝあるが同地に於ける勞力は過剩著しき狀態にあり何となれば亞港方面に於ける仕事は凡て陸軍に關するものなるが之に要する人夫勞働者は陸軍が凡て內地に於て募集し同地に輸送するを以て何等目的なく唯漫然として同地に渡航するものは食ふに食なき窮狀に陷り如何ともする能はず現に五月二十一日には千葉縣山武郡より百五十餘名の一團上陸したるも食ふに食なく寢るに家なき有樣にて倉庫の軒下などに起臥し何等なす所なく窮し居れり之等は全く無責任なる仲介者の甘言に吊られたるものにして之に鑑み漫然として亞港方面に渡航せんとするものは十分戒心すべしと云々（東京電報）

松山下村兩氏
辭職說疑はし

昨今說をなす者あり曰く杉山關東廳事務總長及び下村臺灣民政長官共に辭意ありて近く實現すべしと云ふも二十三日入京せる杉山氏は病氣保養の爲めなること明かにして辭職の意志なきこと氏自身言明する所なり又下村長官の辭職說は無稽も亦甚だしく卽ち大正四年安東總督時代一木樞密顧問官の推薦に依り就職したる下村氏は進退擧措常に周到なる用意をなし安東總督に對しては自己の抱負を披瀝し其の容れらるゝに於て始めて任官し續いて明石總督となるや辭表を懷中にして再び自己の抱懷する臺灣統治の意見を總督に開陳し之亦採用せられて在任することゝ決し又一昨年田總督新總督として就任するや之亦辭表を携へて其邸に訪問し意見を交換し下村氏の持論たる臺灣評議會制度を改め多くの意見を採用することの諒解を得て爰に更に繼續任官することゝなりしものにして其の下村長官案は今や着々實行の緒に就きつゝあり總督長官の關係亦極めて圓滿なれば下村氏辭職說は斷じて信じ難しと云ふ又下村長官は不日勅選議員任命の日に現官の儘其選に入るべしと（東京電報）

田中陸相病痾

田中陸相は醫師より絕對安靜を命ぜられたるに拘らず滿鮮會議に出席の爲強て上京し十六、十七、十八の三日會議に列席せるも病勢急に昂進せる爲二十日會議には列席せず官邸に引移り平井赤十字病院長の診察を受けたるが今後絕對靜養を要すと（東京電報）

阪本社長旅程

日本赤十字社副社長貴族院議員阪本彭之助氏は社命を帶び來る二十七日午後五時二十分東京發神戶より乘船青島濟南北京視察の上六月中旬奉天大連を視察し奉天線にて朝鮮に出で平壤京城仁川釜山各地視察同月下旬歸京の筈なり（東京電報）

國防政策
軍備制限は大賛成だが閑却すなと 和田少將語る

陸軍大學校第三學年生五十一名を引率し戰史演習を行ひつゝ支那方面より入城したる同校幹事和田少將一行は二十三日京城府內の視察を爲し廿四日午前七時廿分南大門驛發列車にて歸京の途に就きたるが同少將は往訪の記者に對して左の如く語る

『本年は浦鹽方面に赴く豫定であつたが同地方には惡疫が流行して居るので、急に豫定を變更して青島より奉天、更に南下して

朝鮮を經て 歸京することに決し、本月一日東京を出發したのである。最初は大連に上陸して、直に旅順、遼陽、沙河、奉天等に赴き、日淸日露並に日獨戰爭の戰跡を見學し

戰史演習を 行ふたのである。戰史に關する學科は、大學內で習いてあるが机上の空論では役に立たぬ。實際に戰場を踏んで、以て戰史を講ずることが、

簡明端的に 腦裡に浸透して、大に効果が擧がるのである。陸軍大學では每年戰史演習を行うて居るのである。日淸日露の戰役に從軍した者は、學生に向つて講釋して居るから、當時の光景が

面影が髣髴 として浮ぶ。斯くて戰友の戰沒せる當時を思ひ出し聲淚共に下ると云ふ感であつた。夫れ丈け學生に感動を與へたと信ずる』と戰史演習の概況に對して具に述べ更に語を轉じて軍備制限に及して曰く『今回の軍備制限に對して、何人も反對するものはない。主義としては正にサウであるけれども、實際問題としては餘程考へねばならぬ問題である。腹がシツかり出來ねば落付がない。夫れと同じ理窟だ。

軍備を使用 することは別問題であるが、其の充實丈けは期さねばならぬ。況して軍備を論ずる者は、主として經濟政策の見地に立つて、國防政策に言及せぬ傾向があるのは什にしたものか。自分の畑に水を引く譯ではないけれども、國防を輕んずる傾向は、國軍の素質を低下せしむる原因となつて世界で第一流を誇つた我國が、二流にも三流にも降下することになるのである。恁麼ことは我邦建國以來の民族性たる

尙武思想を 絕滅することになるかも知れぬ。此際北海道邊に一ケ師團增設の噂も聞くがそんな事は先づあるまいと思ふ。寧ろ增師する位ならば、朝鮮に置く可しである。軍隊の力で抑壓せよと云ふのではない、只だ軍隊の存在其事が自然と統治上に便益を與へることになるであらうと思ふ。併し是等の事は國家の政策に屬することであるから自分等の關知する處ではないが兎も角

國防政策に 無頓著であり且つ無頓著を誇るの傾向があるのは、決して喜ぶ可きことではない。軍備を充實すると侵略主義とは自ら別問題である。自分は此點に關して世界の諒解を希望するのである云々

國道改修豫算
改修九箇所

朝鮮に於ける修道工事は國費に依るものありて國費國道の維持修繕及里道の改修にありては地方費を以てし國費に年額百五十萬圓地方費に二百萬圓を支出し居りしが本年度も總額三百五十萬圓にして內國道の改修の主なるものは左の如し

區間	工事概要	工事費
鐘城慶源間	雲霧嶺開鑿	一〇〇
咸興長津間	黃草嶺開鑿	一六〇
行營慶源間	殘工事	五〇
釜山大邱間	三浪津附近	一〇〇
忠州江陵間	平昌附近	一六〇
海州南川店	勝造場	一五〇
鏡城朔州間	全線	二〇〇
京城義州間	沙里院附近	四〇
同	大同江架橋	五〇〇
合計		一、四六〇

右表の如く本年度の最も重なる工事は大同江架橋にして右は本年度より三年繼續事業とし年額二百萬圓本年度は單に橋脚工事に止まるものなりと

税關官制改正
税關職員增加

税關官制近く改正せられ税關職員の增加を計る事となるべきが右の內主なる者は新義州税關支署安東縣出張員の增加にして昨年九月內鮮關税統一の結果滿洲及支那方面より鐵道線にて內地に送る連絡貨物は總て安東縣に於て輸入手續を行ふ事となりたるが手不足の爲め內地に於て税關所在地に仕向けらるべきものは之を所轄税關に輸出手續をなさしめ税關所在地以外のものゝみに就き檢査等を行ひ來りしが職員增加實現の暁は之等內地向けを總て安東縣に於て輸入手續を了する事となるべく右官制は既に十七日の閣議に於て決定したるを以て近く公布さるれば六月一日頃より叙上の手續を行ふ事となるべし

○寫眞說明○ 憲兵隊長會議、正面中央は前田司令官其の前面の大テーブルを圍んで右から大楠京城、宗安海州、前田大邱、小河平壤、松倉光州、小山田咸興の各隊長で兩側は神村大佐、山口高等課長、日下部中佐、太田少佐其他の諸隊員

憲兵隊長會議

朝鮮憲兵隊長會議第一日は廿四日午前九時より憲兵隊會議室に於て開會前田司令官議長席に着き出席隊長は京城大楠大佐、羅南鈴木大佐、平壤小河大佐、大邱前田中佐、光州松倉中佐、咸興小山田少佐、海州宗安少佐の諸氏並に陪席として內地憲兵隊司令部附日下部中佐軍司令部の神村大佐山口總督府高等課長太田高級副官三浦、竹本兩副官及び憲兵隊附軍醫監等列席し前田議長は日程に基き開會を宣するや劈頭大楠大佐は管內狀況報告をなし次いで鈴木大佐外諸隊長は順次地方狀況を報告する處あり同十一時半一先づ休憩し各列席隊長は前田司令官の案內にて自動車に分乘し軍司令部に赴き大庭軍司令官に挨拶をなし一場の訓示を受けたる後午後一時再會午前に引續き各隊の地方狀況報告あり同四時終了せり尙ほ第二日目の廿五日は前軍事警察事項廿六日は午前審議事項後注意事項廿七日は豫定の訓示、指示、講演午後司令官訓示事務打合せ廿八日は事務打合等を爲すべしと

朝鮮米の現在及將來
西村殖產局長談【二】

朝鮮に於ける產米の將來如何を問はんとするには先づ朝鮮の氣候風土に就て述べねばならぬ朝鮮の地理的位置は大體內地と異る所はない朝鮮の最南に位する濟州島は四國九州の北端と同緯で慶尙南道全羅南道全羅北道の一部等は內地に比して中國近畿地方と略其位置を同じくして居るのである更に進んで

西鮮地方の 最も北に位する所は岩手、秋田と同じく成鏡北道の最北端と雖も青森の北部若くは北海道の南部と緯度に於て同位置に在る朝鮮の極北は緯度から云へば北緯四十三度であるが北海道では四十四度迄は米作が行はれて居る更に滿洲西伯利方面は四十五六度以內の所迄は米が作られるのである斯く觀じ來れば朝鮮の全領域は

北海道以南 に位する內地と同樣であつて實際から見れば米を作るに何等差支なき適當な地位に在るのである更に氣候の關係から見れば大體に於て朝鮮の氣候は大陸的であつて夏季米作を營む頃の氣候は一體に氣溫が高く又日照時數も非常に長いのである加ふるに朝鮮は空氣の乾燥して居る爲め太陽の熱度は頗る強く內地の東北地方に於て往々見るが如き日照不足の爲凶作を起すと云ふが如きは絕對になく殊に朝鮮に於て都合のよい事は內地の最も恐れつゝある稻の開花時に於ける暴風雨の無い事である勿論絕體に無い譯では無いが

比較的僅少 であるのである斯樣に朝鮮の米作は最も有利なる狀況を具備し且雨量の少いと云ふ事は場合に依りては旱魃等の事無きにしもあらずではあるが多くの年に於ては必要な時期に相當の降雨を見凶作は比較的少いのである斯る有樣であつて位置の上より見るも氣候の上より見るも大體に於て朝鮮は最も米作に好適の地と云ふを得るのである朝鮮は昔年打續きし併合以前の

惡政の結果 一般農民の耕作狀態の如きは非常に幼稚であつて所謂搾掠虐法行はれこれが爲め耕地は概ね荒廢し今日に於て一般に地力が消耗し生產力が甚だ乏しいのである其處で朝鮮の米作地の地味を改良するには如何にすればよいかと云ふ問題が起つて來たが是は姑く別問題として兎に角

現在の耕地 に對して適當の土地改良事業を行ひ施肥耕耘を懇切周約にしたならば產米も敢て內地の土質に劣る事無く十分に其の生產力を增加するの餘地があると云ふ事は少しも疑なき事實であつて天然の要素に於ては何等も缺ぐる所なき事は先分之れを認むる事を得るのである

司令官訓示

大庭軍司令官は目下憲兵隊長會議列席の爲入城中の各隊長等を廿四日午前十一時半軍司令部に召集し一場の訓示をなしたるが軍司令官不在の爲大野軍參謀長代理せりと

船客檢疫施行

ペスト豫防の爲め五月二十五日より關東洲より發し又は同洲を經由して朝鮮に來航したる旅客に對し最初の寄港地に於て發航の日より五日間に滿つる迄中に停留し檢疫を行ふべき事となり二十五日官報を以て告示さるべし

山林協會總會

目下各道委員に於て會員募集中なる朝鮮山林協會は來る六月十一日京城に於て（場所未定）發會式及總會を開會すべし

金融組合補助
各道知事に通牒

大正十年金融組合聯合會に對する補助方針は豫て總督府財務局に於て詮議中なりしが今回決定を見たるを以て二十四日付各道知事宛之を通牒せるが其經費補助の標準左の如し

一、理事の給料、手當及舍宅料並朝鮮總督の指定に係る設立準備委員の給料手當及舍宅料は大正七年度以降設立の組合に限る
二、理事の旅費但し同上
三、理事見習の給料手當及舍宅料所要額
四、理事見習は設立準備委員の赴任旅費但し理事の赴任旅費は積立金五千圓未滿の組合に限り又理事見習の赴任旅費は同一道內轉勤の場合を除く
五、其の他特に補助の必要ありと認めたる經費

試驗所增員
勅令にて公布

中央試驗所にては硝子製造に關する試驗の爲め技師及技手若干名を增加する爲官制の一部を改正し職員を增加する事となれるを以て既に閣議を通過し近く勅令を以て公布せらるべし

鮮鐵中旬業績

五月中旬に於ける鮮鐵運輸狀況を見るに本旬は概ね降雨に祟られ旅客貨物共に特異なる材料なく全く無爲に終りたるは已むを得ざる次第ならんか統計如左

乘車人員	三十六萬八千九百三十九人	減
貨物噸數	八萬八千八百八十三噸	減
客車收入	三十四萬三千二百卅一圓	
貨物收入	二十五萬八千八百三十圓	
一日平均	五千五百四十九圓	

電信取扱時間

來る六月一日より滿洲里擧政府鎭南浦岐陽釋王寺の各電信取扱所に於ては午前八時より午後七時乃至八時迄の外は電報に關する一切の取扱ひを爲さず此中鎭南浦岐陽三所が鐵道路線に在る者に宛若くは取扱ひ所置の指定ある電報を配達する外別便配達をも爲さずと

內地へ旅行中ノ處本日歸宅仕候
大正十年五月十三日
京城府仁寺洞一三六
辯護士 高橋章之助
電話一五六番

師團長檢閱

淨法寺第二十師團長は馬山重砲兵大隊檢閱の爲吉澤副官を隨へ二十四日朝出發二十六日夜歸任の豫定なり

辭令

本日左の如く辭令ありたり

任總督府技師 總督府技手 村田昇淸
叙高等官七等 總督府道技手 井田毅
任總督府道慈惠醫院醫官 命平安北道在勤（叙高等官七等） 高田昇
任總督府道慈惠醫院醫官 命慶尙北道在勤（叙高等官六等） 柳瀨信平
任總督府道慈惠醫院醫員 命平安北道在勤（叙高等官七等） 原俊雄
同 命慶尙北道在勤（叙高等官七等） 武田俊一郎
任總督府道慈惠醫院醫官 命平安南道在勤（叙高等官七等） 鄭志鍾
任總督府道慈惠醫院醫官 命成鏡北道在勤、叙高等官七等 松永信介
總督府醫院醫員兼總督府醫學專門學校助教授 一番ヶ瀨政次郎
任總督府判事（叙高等官七等） 李僖珩
命光州地方法院木浦支廳判事 用瑩
任總督府通信技手 松崎新
任京城師範學校教諭（叙高等官七等） 福富一郎
任京城工業專門學校教授 叙高等官六等 奥田定一郎

人事消息

▲西野元氏（大藏省主計局長）二十四日朝釜山上陸九時五十分にて北行
▲赤池濃氏（總督府警務局長）廿一日平壤へ出張せしが廿六日歸任の筈
▲香椎源太郎氏（釜山商業會議所會頭）二十四日朝釜山着（釜山特電）
▲八木逸郎氏（代議士）二十三日來城
▲松田教臣氏（三越本部常務取締役）二十三日夜入城朝鮮ホテルへ
▲幾度永氏（三越本部調査課長）同上
▲和田駿氏（青島棧務課長）二十五日朝入城朝鮮ホテルへ
▲高橋章之助氏（辯護士）上京中の處二十三日歸宅
▲平井晴二郎氏（支那交通顧問）二十五日夜京城通過北京へ
▲中原大尉（二十師團附）第三十九旅團幹部演習參加の爲二十四日平壤へ
▲南大尉（副官）同上
▲原田大尉（副官）北鮮地方へ出張中の處二十六日夜歸任の豫定

訂正 昨紙所載非常旅況に關する記事中…一七九三六件とあるは一七七九三六件の誤植なりき

勅選議員任命

滿州線と乘車賃

公債賣出

五十錢紙幣

光復軍の暗殺隊員

不逞鮮人は光復軍に屬する暗殺隊員…

天氣豫報

…なるも東岸の所々に霧ありたり 二十五日京城は概ね曇たるべし

…鮮銀支店長より過般案を立て大に手すべく日ならずして實現し得べき事と信ず。
[illegible]大連へ九十一錢四厘五毛 釜山へ七十六錢七厘五毛 是れを官廳當りに割直せば
大連へ六圓[illegible]錢、釜山へ七圓[illegible]となる大連釜山の差は六十四錢なり現行長春起點のものは一圓は差を損することゝなる
して現行長春起點のものと比較するに現行のは十二錢七厘なれば[illegible]
[illegible]なれども、それは當初の日露運[illegible]に多大の苦心を要せりと言へば[illegible]協定により戰前以下に留[illegible]今回の事は是を是認する外なかるべし[illegible]以下に下る事になるを以て不らむとの事なり
[illegible]は町總代及び役員の完成を祝し[illegible]五百餘名の官民を招待し午後五時府廳內グラウンドに模擬店を設け宴に移り撤宴後來賓は模擬店に入り思ひ〳〵の馳走に腹を肥やし大典會の芝居其他[illegible]
○廿二日[illegible]名山本寛[illegible]

有望なる全北の叺【下】

大に其の指導奬勵に努め 本年はまた格別の大改革

然るに時勢の進運と叺の增大とに伴ひ從來の方法に一層の改善を計るの必要を認め本年四月より左の如く一大改革を加へたり

▲組合の整理 從來の主産地七郡七組合なりしを七郡四組合とし品質の向上統一に一層の改善を加へる事とし道より一定の標準を示し更に道に於て不斷の監督を加へる事とせり

▲檢査場所の指定 從來檢査場所は各組合に於て任意に設置せしを以て諸種の弊害を招致するの虞ありしを以て右檢査場所は知事之を指定し之が弊害を防止する事とせり而して今回指定せる檢査場所を掲ぐれば左の如し

組合名	組合所在地	組合區域	檢査場所
沃溝郡蠅叺組合	沃溝郡	沃溝郡一圓	群山榮町、大野面地境、臨陂面臨陂（地境驛より三里）
益山郡蠅叺組合	益山郡	益山郡一圓	湖南線裡里、咸悅、黄登（江景より數町）大場村（全北輕便鐵道大場驛）熊浦（錦江に沿ひ群山に船の便あり）
金堤郡蠅叺組合	金堤郡	金堤、萬頃、井邑、扶安郡一圓	湖南線金堤、扶寧、新泰仁、井邑、夢山（群山に船の便あり）
全州郡蠅叺組合	全州郡	全州郡一圓	全北輕便鐵道參禮、東山、全州

▲叺等級改正 從來の檢査等級は三等級なりしが一等級に懸隔ありし爲品質の統一を自然缺けるを以て之を改善する爲め左の如く四等級に改正し益々品質の統一向上を計ることゝせり

▲叺檢査等級並證印

等級	證印色	證印
特等	黑	內經二寸五分
一等	青	內中周圍三分其他二分（米豆包裝用）
二等	赤	（雜穀包裝用）
三等	紫	（穀ヲ入レサルモノ）

▲檢査叺販賣方法 檢査せる叺は總て其の場所に於て其の組合より共同販賣に附す而して其の方法は群山榮町に於ては競爭入札とし（現物取引期間十日間）其他は當分指定販賣とせり

▲叺取引機關設置 販賣方法右の如くなるを以て需用者は入札又は指定を受け購入するか又は一旦右叺を購入せるものより取引せむとせば直接其の商人に註文するの方法を採らざる可からざるが今回需給兩者の便を圖る目的を以て叺組合聯合會を組織し事務所を全北道農務課內に置き專ら無報酬にて兩者の便を計る事とせり

要するに全北叺は平野地方に於ける小農唯一の副業にして之に依つて生計上に資する所甚大なるものあり且今後益々進展すべき素地を有するを以て道は全幅の力を致し優良品製造の增進と品質統一の向上を圖り以て堅實なる發達をなさしめ市井に於ける其の聲價を發揚し而して又聯合會を指導し誘掖し需給者の爲に取引の圓滑に資すべく大々的に督勵指導を加へつゝありと云ふ

窮迫せる造船界

造船界の活躍を見ぬ內は製鐵事業も振はない譯だ

【平壤】三菱造船重役三宅川百太郎氏は二十日京城に於ける西鮮殖産鐵道株式會社の株主總會に列席の序を以て該鐵道の狀況視察の爲め沙里院に向ひたるが內地の造船事業に就て左の如く語る

內地の造船事業は一時雨後の筍の如く簇生し偉大な發展を來した然るに

戰爭終局 と財界の變動に依つて其大部分は經營困難に陷り殆ど淘汰されてしまつた三菱の造船事業は財界好況時代には主として軍艦の建造をやつてゐた關係で他の造船所に比較すると割合に儲かつてゐないけれども何れの造船所も勢ひに乘じて利益の全部は殆ど

擴張費に 充てゝゐるので多く資金を固定させてゐる從つて別に餘分の貯へも持つてゐない今日から見ればどの造船所も結果に於ては大した變りがないことになつてゐる三菱では割當られた八八艦隊と契約殘りの商船の建造をやつてゐるのであるが

一般註文 は三菱に殺到してる有樣だから當分の仕事は困らない寧ろ他の造船所に對しては氣の毒な思ひをする小規模の造船所では政府に向つて色々註文をしてゐるさうで之には政府も困つてゐる模樣である製鐵事業も造船界の活躍を見ぬうちは振はない

兼二浦の 製鐵所では實際の虧損をしてゐる今日では下得らるゝ程度の能力を以て事業をやつてゐる昨今手持の製品は價格にして約五百萬圓程ある自分等の考へではこゝ二年間は手も足も出ないと思ふ。財界の變動で大打擊を受けた商工業者の大きなものは大抵は

整理の緒 に就た樣だ併し多少の倒産者を見るであらう百萬圓級の處が今尚ほ片が付いてゐないのが多い樣だ本年末には先日網干のセルロイド會社で三百人餘りの職工を淘汰したが自分は嘸職工が困るであらうと思つてゐた處が妙なもので夫々元の職業に歸つて百姓は百姓餅屋は餅屋になつて小さいながら煙を立てゝゐるさうである

北鮮商工聯合會

=承前=

一、日本海横斷航路の無補助寄港實施方要望の件 元山本岡氏提出理由を説明し可決

一、咸鏡線速成の件 清津四元氏城津五味兩氏の説明ありしが特に臨席の岡崎鐵道元山工務所長より工務の現狀及び將來に就て縷述する所あり可決

一、賦役制度復活の件 咸興鷲坂朱兩氏提出理由を述べ次いで臨席三田咸南內務部長現行賦役制度の內容に就て説明する所あり一二字句を修正して可決

一、北鮮の產業中農產及水產に關し奬進的指導奬勵策を樹つる件 元山本岡氏の説明に次ぎ鮎谷議長は特に本案提出理由を説明補足する所あり來賓上田東拓支店長より米作發達に關する意見の發表あり可決

一、釜山、下關、酒田、境、元山、城津、清津間航路開始に關する件 元山笠松堀兩氏の説明あり可決

一、長箭、新浦、吉州、永興に金融機關設置の件 新浦金氏、永興崔氏の説明あり可決

一、咸南共進會を大正十三年春季に開催方共催に請願の件 咸興鷲坂、朱兩氏より提出理由の說明あり議論百出、意見一致せざるを以て特別委員五名を擧げて審査せしむる事とし議長は鷲坂（咸興）本岡（元山）四元（清津）崔（永興）金（新浦）五氏を指命し委員會を開き調査を遂げたる結果

一、咸南共進會を成る可く速かに開催方要望 と改め滿場一致可決

一、通信事務改善に關する請願の件 城津五味氏の説明あり可決

一、市內電話改元山北青長距離電話架設要望の件 北青より代表者の出席無きため番外笠松理事議案朗讀の上後廻しとせり

一、京城、元山、咸興間警備電話を一般に開放方要望の件 番外笠松氏より元山提案の理由並に咸興案と併合の經過に就き報告する所あり可決

一、元山港に生牛檢疫所を設置方要望の件 番外笠松氏の說明あり可決

一、吉會鐵道速急敷設運動開始に關する件 清津四元の説明あり可決

一、鐵道荷物に對し噸級復舊に關し要望の件 番外笠松氏說明と同時に飯島元山驛長に對し會社側の方針を質す所あり、飯島は之に對し噸級制度廢止の理由は主として滿洲線との統一上乃至事故の防止、列車の遲延を緩和する等に由るものと思はるゝも尚研究しつゝある模樣なりと述べ

一、元雄間配船增加に關し要望の件 代表出席者無く、番外議案代讀し議長の要請に依り廣瀨朝郵元山支局長より意見の陳述あり宿題となる

一、門雄線航路を阪神に延長要望の件 新浦金大元七、鍋田廣瀨氏の意見發表あり後廻し

一、東元、元咸、兩線を通じ夜行列車運轉を要望するの件 番外笠松氏の說明あり可決

權威ある團體

大邱土木建築組合 其の成立に就て 松井府尹は語る

【大邱】大邱土木建築組合は既に一切の創立事務を遂げ愈々廿三日市內旗亭「大和」に於て創立總會を開き引續き午後五時より發會式を擧行したるが其の組織に就き大邱府尹松井信助氏は語る

大邱の土木建築請負業者が從來の組合を解散して新に同業者並に關係者を網羅し權威ある組合を組織して知事を始め官界知名の人を名譽顧問に戴きてその活動を開始せんとす大邱は既に其

發展の第一期 に入り總ての方面に於て活氣横溢せる今日斯の如き組合の設立を見るに至りたるは是れ時代の要求に應じたる當然の事にして大邱の爲慶賀に堪へず由來國民の生活基礎たるべき家屋其他の建築及び國民活動の原動力たる鐵道、道路其他工業上必須の土木建築業者は社會の進步より更に一步を先驅せざるべからず

大邱に於ける 從來の組合員會は廿餘名なりしが今回は單に土木建築に直接從事するもののみならず更に間接の關係者をも網羅する由なれば可也多數の人士を組合員に得るならん大邱の請負業者が資力、技倆共に他の點に於て決して他地方の同業者より以上の實力あるを斷言して憚るものに非ず而して若し

假に誤解其他 の行違ひに依り大邱の請負業者に對する非難の聲あり而して之に刺戟せられて今回の如き奮起を見るに至りしものとすれば非難の聲以て多とせん、古來請負業者には傳統的なる仁俠の美風あり大邱の該業者には殊にこの男性的仁俠ありて仁俠に伴ひ一種の弊害を除却し居る點は他地方の

同業者に比し 一步を進めあるを推賞せんと欲す今回設立されたる土木建築組合が果して如何なる實績を擧ぐべきかは遽に逆睹し難しと雖も今後組合の活動によりて必ずや社會的貢獻の深大なるは論を俟たざるなり予は茲に權威ある大邱土木建築組合の成りたることを大邱の爲め大に祝福し併せて其の健實なる發展を望んで止まざる也

旅團幹部演習

【平壤】第三十九旅團幹部演習は岩崎少將統裁の下に二十三日沙里院に集合二十四日より黄海平南兩道に亘り擧行せらる統裁官以下の氏名左の如し

▲統裁部第三十九旅團長岩崎少將 ▲補佐杉田少佐遠藤大尉 ▲演習參加將校坂田大佐、谷村大佐、大島中佐、長野、松本の各中佐、藤田、牧野、石原、香西、瀧谷の各少佐外大中尉四名

增築落成式 群山小學校

【群山】群山公立尋常高等小學校の增築工事は愈竣工したるを以て五月廿一日午後一時より本校新築大講堂に於て增築落成の式典を擧行したるが全羅北道よりは道知事代理藤澤學務課長來臨し宮館府尹、藤澤判事其他官民有志生徒父兄多數參列あり君が代唱歌、勅語奉讀、奉答歌、大原技手工事報告、道知事代理藤澤理事官、宮館府尹式辭、道知事代理藤澤理事官祝辭代讀、來賓總代、學校組合議員總代佐藤政次郎氏祝辭、遠藤校長答辭等ありて閉式したり

群山實女開校式

【群山】群山實科女學校を新設するに決し四月中旬既に開設せるは當時所報の如くなるが五月廿一日午前九時より本校に於て盛大なる開校式を擧行し式典には職員生徒の外生徒父兄及官民多數の參列ありたり

新義州在監囚

【新義州】新義州監獄に於ける二十日現在の在監囚徒數は內地人二十三鮮人七百十二支那人十七計七百五十二名にして此內百四十二名は未決囚にして六百餘の既決囚中例の制令違反に因る者百九十四名ありと

南鮮將棋大會は空前の壯觀であつた

興味ある必死の手合せ 榮位遂に吉本氏に歸す

【釜山】既報の如く我社釜山支局主催の土居八段渡鮮歡迎南鮮將棋大會は豫定通り二十二日午後正一時より龍頭山麓寺谷樓階上百疊敷の大廣間に於て開催した、此日初夏の氣持よく晴れ渡り絶好の娛樂日和であつた、

會場大廣間は 設備も遺憾なく整ひ棋盤三十餘面を列ねて戰士を待つ集まるもの岡本龜山三段、岡田中村二段、久米三好初段の有段者を始め京城より吉本伊三郎氏木浦より武智豐氏の來會あり以下步三步のへぼ黨に至る一百餘名頗る盛會にして定刻を報ずるや土居八段の來釜を又となき好機會と爲し親しく教授を仰ぐ可く土居氏對岡本龜山三段岡田中村二段伊崎初段數番の有段者

模範對局開始 頗る嚴正にして緊張せる盤面を演出し同時に甲乙丙四組の戰鬪を開き盛々の戰略手に汗を握るキワドキ一大接戰は各所に行はれ夜に至るや名戰士の意氣益々軒昂にして將に亂戰狀態に入つた土居八段對各有段者の模範手合せ及勝敗左の如し

土居八段敗 岡本三段飛角交二番
土居八段敗 龜山三段同上
土居八段勝 岡田二段飛落一番
土居八段敗 中村二段同上
土居八段勝 伊崎初段同上

有段者局の結果將に岡本三段は技倆優秀なるを認められ四段に昇格させらるゝ事となつた尚ほ該棋譜は滿洲木七段より後日本紙に發表する筈である

再び大激戰に

入り時は漸く移りて午後九時に垂んとする頃迄には約二百番の手合行はれ乙組岩井庄治君を五人拔きの筆頭に左記の優勝者を出した

五勝 石井靜雄君（初段）
同 吉本利三郎君（乙組）
同 須賀清太郎君（乙組）
同 池田幸一君（丙組）
同 土谷福太郎君（乙組）
同 伊崎久吉君（初段）

嚴正なる審判 の下に直に各優勝者に賞級爭ひの目醒しき決戰に入つた、一等月桂冠の榮譽を獲得せずんばやまじと五勝戰士の意氣込や素晴らしく血走りたる面貌と沈思默考の一手々々のさす手引く手は滿堂の觀客をして片唾をのましめ悽慘の氣溢る、頗るひきしまつた光景を演出した、中村二段築地初段格岩井（乙組）の鬪將時に利あらず順次倒敗し吉本、石谷兩初段格及遠來の勇將石井（乙組）三氏の爭覇戰に入り龍攘虎搏

一層の緊張味 を示し三者交番手合せ勝敗の關係上干戈を交ゆる事再度に及び遂に京城吉本氏拔群の榮位を占め午前二時過ぎ決戰を了り夫々一等より十等に至る本賞及副賞品を授與し空前の盛況を極め午前三時閉會をつげたが入賞者の氏名左の如し

▲一等吉本伊三郎 ▲二等石井靜雄 ▲三等石谷若松 ▲四等岩井庄治 ▲五等築地千次郎 ▲六等中村穗太郎 ▲七等池田延次郎 ▲八等伊崎久吉 ▲九等土谷福太郎 ▲十等須賀清太郎

尚前記岡本敎一氏以外には初段格石谷若松、石井靜雄の兩氏共に技倆の進步を認められ初段に昇格土居八段より免狀を授與せらる由

有段者の會合

今回の支局主催の將棋大會は朝鮮に曾て見ざる有段者の會合で我が釜山に於ては池田、岡本兩氏の四段を筆頭に二段二名初段六名都合十名の有段者を有する譯で其他初段格數名あり近く之等棋客によつて將棋俱樂部が組織せらるゝ筈である、因に土居八段は廿三日朝東萊溫泉に遊び同夜十一時發列車で滿洲木七段同伴木浦に向け出發した。

南鮮庭球大會

第二回優勝旗爭奪戰

期日	五月二十九日午前八時
場所	大田鐵道コート
會費	金壹圓（行厨を呈す）
申込	一團體に付二組
申込所	京城日報社大田支局
締切	五月二十七日限り

主催 京城日報大田支局
後援 大田庭球團 大田鐵道俱樂部庭球團

春季弓術大會【平壤】

平壤弓術界の重鎭永松次郎氏は今回師匠免許を授かつたので披露旁々來る廿九日櫻町道場で春季弓術大會を開くそうであるが當日は京城、新義州其他各方面から數十名の愛弓術家が集まるそうだから定めて盛會を極むるであらう

平北署長會議【新義州】

平安北道に於ては管內各警察署長を召集し廿四日より署長會議を開催せり

海軍記念祝賀【安東縣】

來る二十七日は海軍記念日に相當するを以て安東在鄉軍人分會に於ては午後五時より公會堂に於て總會を兼ね海軍記念日祝賀會を擧行すべしと

地方集會

◎久留島氏講演會 お伽噺界の權威久留島武彦氏は目下滿洲各地巡廻講演中なるが來る二十九日安東縣に來り同日午後安東小學校に於てお伽を試み同夜は婦人達の爲め講演會を開くべしと（安東縣）

◎筑前琵琶温習會 安東縣當地筑前琵琶旭鶴門下生の筑前琵琶温習會を二十三日午後七時より南座に於て開催したるが非常の盛會なりし（安東縣）

◎加能越鄉友會 加能越鄉友會は二十一日午前十時より演武場に於て開催したるが來會者百餘名に上り頗る盛會なりし（平壤）

◎赤池局長の張宴 在壤中の赤池警務局長は二十三日午後七時より平壤府內各警察署長を樋屋に招待し盛宴を張れりと（平壤）

◎協成銀行野遊會 協成銀行野遊會は二十二日午後一時より牡丹臺亭附近の山上に開催する筈なりしが當日雨天の爲め[illegible]に改めて開催し[illegible]々の餘興ありて非常の盛會なりし（安東縣）

◎大田在鄉軍人總會 豫て延期中の大田在鄉軍人分會總會は[illegible]午後四時より大田小學校に於て開會する事に決定（大田）

地方人事

▲金谷少將（陸軍參謀本部第二課長） 服部前田兩大佐を隨へ二十三日朝新義州驛通過奉天に向へり（義州）

▲泉末治氏（釜山商銀專務取締役） 二十二日午後五時四十分發列車にて[illegible]出發赴任（安東縣）

▲高野前夫氏（忠南地方課長） 二十二日東拓大田支店移民追悼法要及優良移民表彰授與式に參列の爲め一泊翌二十三日歸邑（大田）

京日案內

讓ル 高級寫眞機テッサー一類鏡玉附名刺版取枠兩面三個フイルムパックホールダー一革鞄附 希望の方は電話京城四六八へ

レール 賣品 米國製中古拾貳封度〇六呎附屬附 百拾馬力發動機其他 電話山附江通り七番地 長電話六貳參番 若泉商店

求職 中學卒業程度英語話し得 商店又は會社に雇はれたし 姓名在社

入用 十六七歳位の內地人小僧一名 御希望ノ方ハ本人來談アレ 本町二丁目 久保田陶器店 電話一五五三番

募集 大工及見習 內地人を問はず給與充分 京城南大門通三丁目 電話參八六 戸田農具株式會社

名灸 小兒虫はり 其他一切の治療に應ず 京城櫻井町二ノ一七三 公設市場附近 中島慰吉

電話 至急買入れたし 保六百圓以上低利即時貸出 其他最長期也電話二六一 明治町フランス敎會下 五番 小出

高尚（製印術） 良習學ばんと欲する少年は來れ 無資本にて身を立つ 京城本町一ノ三三 萬世堂製印練習所（明治町通）

募集 外務員（年齡三十歳以上） 右志望者は午前中本人來談あれ 大和町一丁目（徵兵保險會社通） 日本徵兵保險

店員 入用 內地人にして運送業に經驗のある者 希望の方は御來談下され度候 京城水標町 丸江運送店組 電話一四五九番

代診 生入用 希望者は至急履歷書及び希望の點略記御送附あれ 龍山 直塚醫院

讓店 明治町二丁目 本町筋 草菓子小間物類の老舗 居拔の儘に讓りたし 御希望の御方は左記へ 大和町三丁目 信太社內

賣地 住宅地 大和町三丁目貳百八十一坪 黄金町二丁目 前記希望の御方は 電話一八四五番 [illegible]國松之進

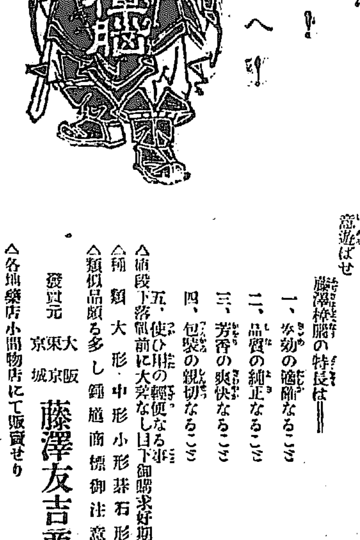
賣店 を求む 當方夫婦者子供無し 京城本町一丁目附近に至急貸一戸 本町一丁目 田邊治昌方 林

宮內省御買上品

薫りのよい、保ちのよい香水は
原料香水 オリヂナル
一滴のオリヂナルには世界の名花三十八種の薫りを含んで居ります
製造發賣元 本舖 東京 カオール本舖 安藤井筒堂

クスリハキクナ 平壤大和町 菊名千壽堂藥局 電話二三八番

美術 京染 新柄見本
京城本町三丁目三〇六八番 さゝらぎ屋京染店 （地方ハ注文ノ際通知仕候）

登錄商標


簞笥へ！ 長持へ！ 柳行李へ！ 支那鞄へ！

今は害虫の孵化ときです お衣裝お道具 書籍 書類 屏風 軸物 敷物 毛織其他お大切の品には藤澤樟腦をお忘れぬ樣御注意遊ばせ

藤澤樟腦の特長は―
一、效力の適確なること
二、品質の純正なること
三、芳香の爽快なること
四、包裝の親切なること
五、使ひ方の輕便なる事

△値段下落戰前に大差なし目下御購求好期
△種類 大形、中形、小形、菲石形
△類似品頗る多し 錨樟商標御注意

發賣元 大阪 東京 京城 藤澤友吉商店
△各地藥店小間物店にて販賣せり

胃腸藥タラコン

此タラコンは中世紀に於て補精强壯、延命長壽の奇藥として珍重せられたのですが村井弦齋先生は更に之れが胃腸に靈驗あることを發見せられ藥學博士淺田宗伯先生秘法の調劑と配伍するに及び愈々其靈驗を發揚し以來帝國大學教授を始め專門家の熱心なる研究に依りタラの成分闡明せられ其結果の世界に發表せらるゝに至つて益々聲價を上げ今や內は宮家を始めまつり上下各階級に外は米國及加奈陀を始め廣く海外各地に愛用せらるゝに至りました、此藥は第一に弛緩したる胃腸の筋を緊縮し胃腸アトニー・胃擴張胃下垂等にて食物の胃腸に停滯する人胃腸の伸縮し働かする力が衰へて消化不良を起す人又は便秘し又は下痢する人何れにも卓效があります第二に胃液を整へ其分泌を順當にし胃酸過多の人胃液の少い人酸い水や苦い水やゲップの出る人空腹時に胃腸の工合惡く或は疼痛を感じ或は惡嘔を起す人特に胃潰瘍に靈驗があります第三にタラの一種の不可思議なる刺戟の力は胃腸に生じた寄生物を驅除し手術の外施すべき術なき癌腫にさへ驚くべき効果を奏します更に此藥の配伍を變へるときは色々の病氣に靈効を發揮しタラコン糖尿湯は糖尿病に奇効があり第五特方タラコン湯は腎臟病の下痢發熱盗汗を治して大に徴候を增進し驚歎すべき成績を現はします

⊙藥價 散藥煎藥各五十錢、一圓廿錢、二圓五十錢、五圓、十圓、タラコン糖尿湯・第五特方タラコン湯各一圓五十錢、三圓、六圓、十二圓、送料十二錢、海外四十五錢

ぜんそく湯 つわり湯 タラコン湯 本舖 東京市小石川區下富坂町廿番地 無量壽藥園（電話小石川二九五六番 振替東京二〇〇二一番）

流行のいろ／＼

浴衣　藍の香のみづ／＼しい浴衣が賣出されて來ました地色は矢張り紺納戸でありますが此の夏は幾分か薄納戸に移らうとしてる傾向が見ねます
◇模樣は草花でも今迄の樣に小型な優しいものでなく目立つて雄大なものとなりましたがそれは若い婦人向きで少し中年向きには紋を崩したものや堅い有職を巧に調和したものが多い
◇地質は呉岡や縮が主ですが今年の新製品としてボイルと云ふのがあります麻の樣に薄い地で如何にも輕く涼しさうです又變り地として絽縮緬老縮等の遊手があります

單帶　輕やかで瀟洒の單へ帶が次第に喜ばれて地質は從來博多本位で十五六圓のものです地色はすべてあつさりした新橋、新芽、青磁等で中年向きには薄鼠、薄納戸等が多くこれまで柄は獻上本位であつたのが少し變つて獻上を應用したものが出ます
◇普通呉岡地で三圓五十錢から四圓五十錢縮が六圓から十圓位ボイル地は九圓前後絽は十二三圓程度です
◇大膽の傾向として從來地色が本位でありましたのが模樣色本位となつて白地のものでもあまり白々しくなく模樣の色で地色の大部分を埋られてる事に新しい氣分を感じます
◇輕い博多地の外に明珍織、風通、網代織、鹽瀬博多織綴れ等稍柔か味のあるものが現れましたがこの明珍織、鹽瀬博多等は友禪をつかつた最も嶄新なものであります

近く渡鮮する柳兼子さん
朝鮮美術館建設の爲め

かねて日鮮融和の上に心を致されてる柳宗悦氏が朝鮮美術館建設の爲に再び兼子夫人と相携へて渡鮮各地を巡演せらるゝ事は既に報ぜられた處で有ますが

今回はお二人の外に花の如きピアニスト慶大醫科教授前田長太郎氏の令孃みね子孃を伴つて來月初旬愈々當地丟の豫定です著城の上は日本基督教婦人會主催、本社後援の下に愈六月六日と十三日の兩夜兼子夫人は彼の稼い藝術を

夫君の溜い事業の前に捧げて獨唱會を開かれる筈であります聲樂家としての夫人に就ては既に名聲高く昨春來鮮の折も容姿の高貴さと勝れた藝術とは親しく同好者をして驚かした程でありますが、尚又今回伴奏の

前田みね子孃は本年音樂學校卒業の芳齡漸く十七歳といふ艶麗な音樂家でピアノの師、柳原直氏がその妙技に感嘆して兼子夫人にすゝめ其の同伴者とされた程の人で、やがて訪るゝ此の二美人の音樂は定めし當地樂壇を賑はす事でせう

因みに此の獨唱會の入場切符希望者は旭町二丁目橋本金太郎氏又は本町一丁目大阪屋號書店或は南米倉町渡邊暢氏、太平町二丁目中村建築事務所其の何れにか申込まれたしと

明大同盟休校？
文部當局近く學長に警告し責任を問はん

明大問題は二十三日夜の笹川植原兩氏の演說會後に於ける學生委員協議の結果最後の手段として或は同盟休校の擧にも出で兼ねまじき形勢となりたるが文部當局にては監督の立場より愈近く木下學長に警告を發しその責任を明かにせしめんとしつゝある模樣なり（東京特電）

京龍間電車賃統一問題
均一制度は畢竟理想に過ぎない
均一制度は遂に行はれぬ

電車の改善と乘車賃金の均一問題に關し京城電氣會社木本專務は語つて曰く

電車經營は區域制を以て原則とするものである、均一制の本家本元たる彼の米國に於ける現狀と東京市電の狀態を見よ米國の電車經營者が均一制の爲に非經營上如何に苦しみつゝあるか又現在

東京市電が如何に混亂を極めてるかを想へば均一制の適當に行はれ難きを知るであらう勿論電車の改善完備に加ふるに賃金の廉價を以て均一制に則らば理想としてはこれに益したことはないが現在に於ては行はれ難い、

京電に於ても深く此點に注意を拂つてる現在の京電經營として從來から市民の不平を聞く如く線路の完全、車體の改善が目下の急務である、賃金の如きは現在哩數に於て起點から終點までの

一區域か概ね二哩半ぐらゐある故に一哩の乘車賃が二錢五厘乃至三錢に當つてゐる、餅や饅頭が一個五錢と云ふ高價な今日に於て僅に二三錢で二、三哩を乘れるのだから非常に廉價でないか三坂通遼の居住者が不便不利益な立場にあると云ふが

之は勢ひ免れ難い區域上の犧牲で經營者としても亦萬已むを得ない次第である、兎に角經營當局としては區域制を原則とするのが現社會に餘儀なくされてるのである均一制は理想として行はれ難いものである、隨つて今日の處遺憾ながら市民の希望に副はない

東京大相撲
勝負豫想懸賞
投稿者は二千を越ゆ　正解者百九名に達す
近く抽籤結果發表

本社の東京大相撲夏場所好取組勝負豫想懸賞は例年ながら非常の大盛況にて鮮內は勿論、遠く內地支那等よりの投稿甚だ多く二千を越ね本社の係員は此端書整理に忙殺されてゐるが夏場所も愈終了し十二の好取組中、七組だけ顏が合ひ左の通り勝敗が決定してゐる
▲大錦（負千葉崎）▲栃木山（負若葉山）▲琴ケ浦（負九州山）▲函國（負清瀬川）▲常の花（負鞍ケ嶽）▲司天龍（負紅葉川）▲阿久津（負小野川）
の七勝負である取組が判かつた關係で正解者は百九名に達してゐるらしく案々整理中であるから兩三日中に抽籤を了り懸賞の結果を發表する筈である

婚禮の晩に
小便器を振り上げた男

咸興郡德山面三峰里金昌禹（ヨ）こは去る三月十二日居里中仲方の婚禮の宴に招かれ盛にメートルを上げ遂に脱線して居合せた姜昌璐に喧嘩を吹掛有合せの陶器製便器で頭部を亂打した爲めに硬腦膜出血を來させ殺した事件は曩に咸興地方法院で傷害致死罪懲役三年に處せられたが不服を唱へ廿三日控訴申立てた

尺八の宗家
中尾都山氏入城
入城の上講演演奏大會

日本尺八界の天才である都山流尺八宗家中尾都山氏は朝鮮觀察の爲六月二日入城する相であるが氏は今より二十五年前尺八界に打つて出て以來、雜然たる尺八を

音樂的に研究し組織的に改造を加へ古曲の作譜、新曲作曲作譜に努め尺八界今日の隆昌は氏の努力が與つて力あることは一般の認むる處であらう。都山流の高弟佐藤令山氏の率ゐる京城竹令會主催となり氏の入城を機として

都山流廿五週年記念大演奏會を更に翌日竹令會主催本社後援で音樂大講演會を開催する筈である。都山氏は箏曲師匠津大樂校以下を同伴の上二日夜入城、三日は總督府其他各方面訪、四日は午後二時より五時、七時より十時と二回に亘つて大演奏會を擧行し第一回は朝鮮ホテルに在城の名士官民を招待し

第二回は長谷川町京城公會堂で一般に公開し共に中尾都山氏が都山流の秘曲を演奏する外に翌五日は午後一時より京城ホテルに於いて音樂に關する大講演會を開催、詳細は別項社告通りである氏は又音樂研究にも

音譜を著作刊行してる程で氏の音樂、藝術に對する研究が此講演會で發表される次第である。造詣深く既にヴァイオリン『千鳥の曲』以下多數の

樂しきつどひ（內務會同慰安會）

まなびのには

岸邊先生のお噺【四】

お爺さんが寢て居る子供の顏を見ると時々ニコリ／＼笑つて居る。『ハハー何か好い夢を見て居るんだナ、ソラまた笑つたハハ……』

お爺さんは子供の寢て居る間にグショ濡れの著物を絞つて火鉢の上に載せてスッカリ乾かして置いた。其の内に子供は目を醒ました。

お爺さん『オー起きたな、好く眠れたか。ソレは好かつたねダガお前時々ニコリ／＼笑つて居たよ。ドンナ夢を見たんダイ』

子供『あのネお爺さん、お母さんの夢を見て居たの。』

お爺さん『お母さんの夢を……サウかい夫れは好かつたナ、お前のお母さんは何處に居るのダ』

子供『お母さんは、お父さんが戰爭に行つて死んだので、夫れを心配して死んでしまつて今は誰もゐない』

お爺さん『ソレは可哀相に。お父さんも母さんも誰もゐないカ。サー其の著物を脱いで乾いた著物の方を著なサイ』

子供は兩方の袂を合はして帶を縮めかけたが後を見、前を見て不思議さうにして居る。尤もだ今の今迄水の樣であつた著物はモーカラ／＼に乾いて自分の著物では無いやうに思ふのは無理もない。

子供『お爺さんドゥも有難う』

子供はユックリ寢かして戴いた上に温かい乾いた著物を著せて貰つたのだから大喜び

子供『お爺さんのお世話になつたことは決して忘ねません。僕大きくなつたらキット此の御恩は返します』

お爺さん『アー返しても返さんでもドウでもいゝよ。お前が大きくなりて御恩を返す時分はお爺さんはモウ死んでしまつて居るハハ……』

其　子供がそれではお爺さん又是れから行つて來ますと出懸けやうとするのを見てお爺さんは何處へ行くの？のと聞かれて子供は何處と云ふ的もありませぬが是れから行きます』

お爺さん『アゝサウダ…乞食の子供は行處がないのダ…』

其　の乞食の兒は庭に降りて戶を開けて外に出る。お爺さんは名殘惜さうに見て居たが亦一荐雨がザアー／＼降つて來た

お爺さんは耐へかねて

『お歸り／＼、アゝお歸り／＼、今日は大降りだ、今夜は泊りてアスの朝、出掛ければ好いよお歸り／＼』

其　子供はお爺さんの腹の底からの親切に飛上る程喜んで後に立ち歸りて來て

子供『お爺さんホントに泊めて呉れますか？』

お爺さん『泊めてやるとも、／＼足を洗つてお上り今夜はお前とお爺さんと二人で寢るんだハハ……』

石光は背任罪
砂金五萬圓無斷で送る

南滿土地建物株式會社重役石光孝之助は背任横領事件にて二十一日旅順法院の手にて起訴されたり理由は砂金保管の任務中昨年四月上旬青森縣代議士候補者櫻井德より選擧運動費五萬圓の供託を申し込まれ同二十七日前大連民政署長中野有光の手を經て拓殖局長官古賀廉造氏方棍井方宛砂金五萬圓を無斷送付せるものなりと（旅順電報）

全國工業博覽會
七月五日より二ケ月間

豫ねて計畫中の戰後發展全國工業博覽會は歐洲大戰中に勃興進步發展した帝國の工藝品を一堂に蒐め彼我對照して優劣精粗を明かにし國民に產業智識を普及させる目的で愈る七月五日より九月五日迄、京都市岡崎公園で開催される相である。總裁男爵後藤新平副總裁馬淵京都府知事會長濱岡京都商業會議所會頭以下係員が鋭意計畫を進めつゝある由で開會後は未曾有の盛況を呈すべしと

京城劇場竣工
芝居と活動寫眞

建築中の京城劇場は著々工事進捗し來る廿八日上棟式を行ひ七月迄には竣成する相で資本額は八萬圓花々しく打つ相で既に俳優との交渉も進捗したさうだ

▲壽座　新派出演の京劇派老一鐵五郎一座は連夜大入大盛況なるが京城有志は同一座の爲め海老一後援會を組織したるが明治座京城支店にては二十四日夜劇會を開催する筈にて同入場券持參の方に限りお土產として同店特製の生菓子を進呈し紅茶を接待すべしと

▲浪花座　節劇香羽屋一行三の替り狂言は左の如し　前狂言　旭門松提柚娘、松葉小冠者丸▲中狂言　生人形引拔大立廻り▲女一代鏡井上俊德丸

關釜連絡船

	朝	夕
廿六日	對馬丸	高麗丸
廿七日	壹岐丸	博多丸

山發　朝　六、五〇　夕　八、三〇

曙
德田秋聲作　近藤紫雲畫
第一五四回　ある女（3）

『こんなことが、又と世の中にございませうか。奧さま、さぞお驚きになつたでございませう。本當にお耳に入るさへ、淺猿しいことでございます。何も彼も私が惡かつたのですわ。私が意氣地がなかつたからなんです。……血こそ通つてゐませんけれど、親子でそんなことに爭ふなんて、聞いただけでも慄然といたします。』お信はしかし、今となつては、もうそんな道義上の觀念は大分消わたらしく、表情は一向平氣で『奧さま、まだそればかりではございません。其の私の身重の主を、殘くちやございませんか、若旦那が皆な拵へせられて了つたのです。本當に、私はそれを後で、宅へ養生に歸つてから聞いて、泣きました。そして、若旦那に本當に濟まないと思ひました。いゝゑ、それは大旦那が幾ら何と申しましても、若旦那ぢやないのでございます。こればつかりは、御樣の外には、當人の私だけ知つてゐることなんですわ。唯私だけに覺えのあることですわ。それを、大旦那は悉皆若旦那に濡衣を被せてお了ひになつたのです。』

『……』絢子は、徒、出で、徐々

奇怪なお信の告白に、もう言葉を挾む氣力もなくなつて、陰鬱な沈默に落ちてゐた。お信は尚ほ言葉を次いだ。

『若旦那がさういふことをなさる方でないことは、私がよく存じてをります。私と若旦那との仲は秘密と申しましても、ほんの無邪氣な、子供らしいもので、さういふ問題の起る筈はなかつたのです。若旦那は御承知の通りな好い方で、昔からお氣が小さかつたのですわ。寧ろ臆病の方でしたから、よしんば私から持ちかけても、そんなことにはならなかつたでせう。それを奈何して大旦那はそんなことになすつたか、それは後で判つたのです。詰まり總てはお金の問題でしたのです。お年甲斐もなく、御自分が其の相手だとあつては、澤山の雇人や、世間の手前もあり、又たお金で始末をするにしましてもね、大變なことになるものですから、そこはすいも甘いも御承知の、若い者同志、若氣の至りといふことにして了つたのでございます。素より若旦那さまは、そんなことは些とも御存じがなかつたのです。それだけ尚更お氣の毒でならないのでございます。』さう言つて、お信はぼうと[illegible]い溜息を吐いた。

絢子は硬くなつてゐた。何と言つて可いか、判らなくなつて了つた。不快な表情は、見る／＼彼女の顏に擴がつた。こんな者と出會して、こんな事を聞いたと、いふ氣がした。知らずに過ごした方が、どれだけ安易だか知れないと思つた。と、一方では又辰衛の過去の秘密を知つて、何だか報復したやうな氣もした。白井と自分との事についてあれ程詰問したり侮辱したりした當人にも、既にかうした事があつたではないかと思つた。忘れてゐるのかも知れないが、兎に角私のことばかり責められた義理ぢやない。……さうも思つて、絢子は辰衛の陋劣さを憎みたくなつた。と同時に、そんなことを知らないで、今まで五六年も同棲してゐた自分の結婚生活が、悉く裏切られたやうな氣もして、彼女は新しく腹立たしさを感じた。――複雜な感情が渦を卷いて、絢子の頭の中を搔き亂した。

それで、お腹の子供は？……』暫く沈默の後に、絢子は訊いた。もうそんなことは話すまいと思つたが、聞き出せば矢張り拋り放しも出來ないのだつた。

『月足らずで生れましたが、直き亡くなりました。……結句其の方が双方の爲でございましたでせう。』其子のことは最う思ひ出しもしないと云ふ風に、無雜作に言つて退けたお信は、又こんなことを言ひ出した。

『奧さま、若旦那と今の大奧さまとは……お須賀さんとは、お姉弟なのださうですね？』

『わッ？』絢子は、自分の耳を疑ふやうに『何ですつて？』と反問した。

附近にゐた人々が、物好きさうにちらと此方を振り向いた。

讀者から

▲成歡生に御知らせします子供の百日咳にはヘチマの水は第一の特效藥です猿橋藥店で御求めなされて直に飲ませて上げなさい（龍山中學校內井原）▲京城市內で音樂（尺八、鋼笛、箏笛）初步よりお教へ下さる方はいらつしやらないでせうか成るべく夜間の方がよろしいのですが（路子）▲貸家を捜してゐるのですが京城間で何處でもありませんでせうか少々大きくてもよいのですがありましたら御知らせ下さい御禮は致します（本町五丁目五木村生）▲自炊をしようと思ふのですが京城系貸家の御中に貸間か小さな家はありませんでしようか亦御知りの方は本欄まで御知らせ下さい御禮はいたします（一青年）▲先日魚の目を治す事を御尋ねしましたら色々御教被下早速試みましたら只今では全治致しまして喜んで飛びはねて遊んで居ります御厚情に厚き皆様に此の欄で御禮申上ます（子故にやせし親）

戰よりは逃腰の

安東縣から其筋に著電せる報告に依れば本年に入つて馬賊討伐十二回決大刷子四百六十四軒安東縣六百四十通化縣城內八百七十一地に固定せるものに非ずして[illegible]多く或る時は巡防兵[illegible]然るに湯鎭守使は就任の[illegible]しならば定めし吃驚狼狽するな[illegible]

[illegible]僞に囚人二名斃死し重輕傷者數名を出した擧事は既報の通りで[illegible]の二名は逃げ[illegible]

○山行折詰特に大勉強可仕候
○柳川鍋開始仕候
京城明治町一丁目　電話一六六二番
未廣

京染　悉皆部　御誂御用達　京城北米倉町七〇番地　取次電話一八九四

新龍山三角地西へ入る
新龍山齒科醫院
東京齒科醫學士　廣瀨文質

演藝案內
本町一丁目　有樂館經營　喜樂館　電話五九七番
五月二十日より新三大映畫提供
日活京都派第一部製作品　舊劇　宮本左門之助　全五卷
米國ユニヴァーサル會社特作　第二回　大旋風　全三十一卷ノ內四卷
日活向島派第二部製作品　新派劇　醫學士の妻　全六卷

本町七丁目　壽館　電話一八五
五月二十三日より替り
第一　喜劇　戀と怨
第二　新派劇　入相の鐘
第三　東京生粹組五人男
第四　滑稽　あつくし引ぬき丸橋忠彌

非町　大正館　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
五月二十日より三大映畫提供
日本一鎗の權三　全六卷
新派悲劇　質屋の娘　全六卷
米國アートクラフト社大傑作　ローマンス劇　惡魔石　全六卷

本町五丁目　電車終點　浪花座　電話二三八番
大阪歌舞伎音羽扇一座三の替り
前狂言　旭門松振袖娘松葉小冠者丸
中狂言　京城劇界初めての生人形引拔大立廻り
切狂言　女一代鏡井上俊德丸

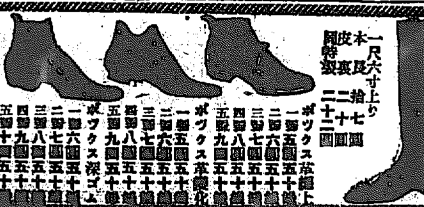
十圓もした
新機　高貴織　タッタ三圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目
服部屋吳服店にて發出中の新機高貴織は柄風最も新進奇拔地質又強く染色も保險の上等品にて一見本高貴織の十七八圓の物に負けぬ逸品也

新義州製函株式會社ハ今般滿鮮木材株式會社ヲ合併仕リ社名ヲ左記ノ通リ改稱シ同時ニ安東縣ニ支店ヲ設置致シ候間倍舊御引立ノ程奉懇願候
大正十年五月
滿鮮製函木材株式會社
支店所在地　安東縣江岸通四丁目　電話三六番

強健長壽
日本人特有の體質に最もよく適合せる模範的の滋養劑
大木五臓圓
東京神田・大阪道修町　大木合名會社

せきずい
同病にて手足引ツリ腰足不隨等に效能正しき良藥あり一觀切手封入申込次第詳報す
兵庫縣明石市三番町　元木本家

東京三金の靴
ボックス革特製長靴
目錄す法用紙要二錢
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六五九〇



支那[illegible]防兵
中には匪徒の群に投じ頗る頼りない有様だ

[illegible]に亘つて命脈を執りつゝあり[illegible]江口八十八で之等は何れも五ケ[illegible]其の派遣地及び人員は[illegible]以下河縣一千五百寛甸縣二千五百桓[illegible]一 哨六班に分たれ居り同[illegible]る作戦を計畫する爲め[illegible]部が某に[illegible]したる[illegible]に依れ[illegible]玉[illegible]使は元軍人にて稍無[illegible]ご[illegible]なる[illegible]する多く常に失態を演ねて勦匪の群に投じたれば斯くご知り[illegible]

日米水兵の衝突事件
双方重輕傷者を出し廿三日午前零時鎭靜に歸した

二十二日午後十時三十分上海呉淞路に於ける日米水兵の衝突は双方重輕傷者あり形勢重大ならんごせしも日本領事館警察の活動により廿三日午前零時鎭靜に歸したり（上海電報）

衝突原因
バーの二階から爆竹

日米水兵衝突の報に接し記者は直に現場に馳せつけたるも折柄混亂中にて原因判明せず當時現場を目撃せるものにつき聞く所によれば日本水兵が呉淞路の活動寫眞館敷島倶樂部の附近を通りかゝりたるに一米國水兵がバーの二階より我が水兵を目がけて爆竹を投げつけたるより我が水兵は何をするかご二階を見上げたるに同所にありし米國水兵三十餘名は直に我が水兵目がけて殺到し來り我が水兵は之に應戰し茲に大格鬪は演出されたるが米國側は我が水兵の權幕に敵せずご見て負傷者を殘し逃走せり十一時すぎ米國領事館員及び我が領事館警察官等現場に來り

眞相調査中二十三日午前一時五十分我が水兵は二個の自動車に分乗してかけつけ米國側も更に來襲すべしとの噂あり我が水兵の激昂甚だしく目下双方對峙中にて我が水兵にも負傷者あり（上海電報）

米國水兵の横暴
日本人に危害を加ふ
此度の衝突眞相

日米水兵衝突事件の眞相は左の如し（上海電報）

二十二日夜の事件は數日前より醞釀されたるものにして元來同方面には米國水兵の横暴は頻々こして行はれ二十一日夜も日本人を毆打し之を取鎭めんごして現場に急行したる日本巡査も同水兵のため毆打され重傷を受けたり

翌二十二日夕刻一團の米國水兵は呉淞路の日本商店に爆竹を投げつけたるが發端にて日米水兵の大格鬪こなりしものにして廿二日夜の衝突にては我が水兵三十餘名米國水兵五十名加はり双方こもに負傷者あり米國側の重傷者は五六名ある模様なり

彼等の受けたる負傷は[illegible]行を防止せんごするん々のため蒙りたるものにして多くは劍創なり内一名は脇腹を抉られ生命危篤なり邦人側は仕込杖棍棒を以て防禦したり二十二日夜は恰も日本倶樂部に海軍音樂會開かれ其處より應援隊は操出され

其他敷島倶樂部にて活動寫眞見物中の他の水兵も應援し斯かる騷動を來したるものにして今後の形勢險惡なり

國際問題ごは早計の甚しきもの
海軍當局談

日米水兵衝突事件につき海軍省には勿論外務省にも未だ何等の報告なし右事件に關し海軍當局に就き聞く所によれば『右は多分事件の跡仕末を了したる上打電して一件顛末を報告し來るべく本事件のため國際問題を惹起する事なかるべし若し双方に損害ならば双方にも隔意なき諒解の下に損害を賠償し事件を解決すれば可なり元來水兵の衝突は何處にも前例の事にして本事件が國際紛擾を惹起するご見れば寧ろ早計の甚だしきものなり』（東京電報）

國際親和會

憐れなる人々の爲めに盡力し國際親和會はデミトリエフ一座入城より警務當局ご協力して食事旅館等の斡旋に努めたので一行は廿三日夜北上の際も警務當局・國際親和會等に對し深甚なる感謝の意を表し特に本社の義金に就いては帝國民の同情深きに感嘆しつゝありたりご

寫眞は李王家の昌慶苑に遙る〳〵アフリカから貰はれて來たバリカン君です

衛生季節で全鮮の檢便
今の處成績良好此の分で行けば只嚴重防疫のみ

傳染病流行期が近づきつゝあるが昨夏は全鮮十二道（平安北道を除く）に亘つて六月二十六日より十月末にかけて患者發生數二萬四千、死者一萬三千餘に及び恐るべき病毒の蔓延猖獗を極め濟州島の如きは全島コレラ患者充滿し

病屍山野に横たはるご云ふ有樣で慘憺を極めたが更に病毒は殘存潜在して今夏再び猖盛を逞しうしはせぬかご憂慮されてゐたので總督府衛生當局は各道中最も病毒の濃厚なる京畿、慶尚南北、全南の四道の各地に於て一般的の檢便をなし

保菌者調査を開始させ慶尚南道は既に終了し他の三道も本月中に終了の見込であるごか警務局衛生課の大久保屬は語る『昨年の病毒が潜在してゐては大變なので此間から病毒の濃厚な地方の地方民一般の檢便をしてコレラ菌の有無を檢査してゐました

慶南だけは終了しましたが幸ひに一人の保菌者も發見されませんでした他の京畿、慶北全南の三道も近く終了の筈で今日迄は未だ菌保有者がないらしいので愈々朝鮮には病毒が現存しないこすれば嚴重な防疫をすれば病毒の移入は六ケ敷くないご信ずる次第です』

京畿道の水道が兩府の手で
獨立經營さるゝ下準備の分割移管の大評定

京畿道所管の水道が京城仁川の兩府に分割移管問題は其計畫を着々當局の手で進められてゐるらしく廿三日は

水道關係者が眞洞土木部で移管問題に關する會議を舉行した相である遲くも大正十一年度には京城仁川の兩府が獨立して水道府營を實行する事になるらしい今日では道廳の所管であるから京城府民は仁川水道の補給を受け

水道課長の指揮で或る場合は規定以外の補給を受けて適當な調節が實行されてゐるが兩府の獨立經營になるご此調節が今日程に容易に且つ迅速に出來なくなるので京城水道水源地を大擴張して京城府民に對する供給水量が充分になるまでは絶えず京城府民は水不足に苦しめられ

仁川府ごの間には補給水量に就いての水爭が夏冬共に起るだらうご豫期される。右に關し秋田水道課長は語る『未だ府營に決定したのではなく計畫の審議中です水道の如きは官の經營すべきものでなく、自治團體自身で經營すべき性質のものですが

今日の如き施設で利益こ立場を異にした京城仁川の兩府が經營するごなれば水の配給即ち兩水道の調節が仲々困難になるご豫想されるので會議でも種々審議されてゐます。此頃の狀況で考へるご京城府は京城水道の四十五萬立方尺ご仁川水道の補給廿四五萬立方尺を

使用してゐますがそれでも一人當り六立方尺です然るに仁川府は使用者一萬七千に對し使用水量が十七萬立方尺なので一人當り十立方尺になり丁度京城府民の倍近いのですから此際仁川府民が大節水を實行して欲しいご思ひます特に萬一大正十一年度から府營になるごすれば仁川水道

擴張工事竣成が十一年末なので給水能力は十二年度迄は同じであるから京仁共に大節水をやらぬご困るし特に仁川府民は大節水が大切です』

柳澤伯令息縊死を遂ぐ
原因は一切不明

貴族院議員柳澤保惠伯令息進(一九)は府下大井町青木街錐子邸に預けられ居たるが去十九日朝縊死を遂げたる事判明せり原因同不明なり（東京電報）

滿鐵問題は何うなるか
最後の協議

二十三日午後二時半大木法相は官邸に鈴木次官を招き何事か密談する所あり鈴木次官は約三十分にして退出し直に首相官邸に再び法相官邸に引返し復命する所ありたるが滿鐵問題に關する最後の決定を爲したるもの、如く一般に注目せらる（東京電報）

京城の道路改修にアスファルト使用
本年度は京城倶樂部前から明治町電車停留所迄

京城目拔の道路なる南大門通黄金町通は從來コールタールを使用してゐたがコールタール使用は毎年修理しなければならぬ不經濟の關係大なるより京城府では今年度からアスファルト敷にする計畫である本年度には先づ南大門通三の京城倶樂部前から明治町停留場迄で經費一萬四五千圓を要するこいふが南大門通り及黄金町通り迄アスファルト敷に改造すご

倘アスファルト道路は五年に一回位修理を要するのみにて却て經濟であらうご因に該工事に使用する道具入倉庫は京城郵便局前廣場に建設中で工事は約一箇月の豫定である

通用罷りならぬ
その金を今以て使用してゐるが速かに現行貨幣ご交換せよ

舊韓國貨幣條例によりて發行されそれ又は其通用を認められたる貨幣の內同條例により發行せられたるもの刻印せるもの五圓▲金貨二十圓金貨十圓▲金貨五圓▲銀貨半圓二十錢十錢▲白銅貨五錢▲青銅貨一錢半錢▲及同條例により通用を認められたるものにして裏面に開國何年と刻印せるもの▲銀貨一兩、半圓、二十錢十錢▲白銅貨二錢五分▲青銅貨一錢半錢▲赤銅貨五分▲黄銅貨一分は大正九年十二月末日限り其の通用を禁じられたるに拘はらず現に市場に現る、もの跡からず右は本年一月以降向ふ五箇年間內に於て全鮮各銀行及び金融組合並に金庫所在地に於ける郵便局に於て現行貨幣ご交換すべきに付前記貨幣の所有者は速かに引換へすべきなりご

國活社長召喚さる

國際活映會社長[illegible]三郎氏は廿三日午後三時東京檢事局に召喚され吉田檢事より嚴重なる取調べを受けたるが右は過般株主より告訴されたる前社長岡田文治氏等ごの關係に付き種々證據を聽取されたるもの、如く一方に依れば會社が六萬圓にて購入せるフイルム帳簿面には二十四萬圓ご記載しあるなご亂脈極りなく取調べの進捗に伴ひ本件後にも二三聯類者を出すべしご傳へらる（東京特電）

椿事續報

平壌監獄にて新築中の物從倉庫が二十三日午前八時二十四分突然倒壞し[illegible]二十四名の囚人を使役して金庫內部の作業中午前八時二十五分俄然大音響ご共に倒壞し其中[illegible]病監に收容し應急手當を施したが近藤某は同十一時死亡[illegible]した死者は大阪市西區江戸堀北[illegible]

一 負傷者は左の如くである[illegible]

祭典費を割いて宣傳ビラを拵へた
總ての人が斯うだご頗る心強い譯だ……

新龍山にては今回祭典費ごして殘存せる金若干を善用し悪疫豫防宣傳ビラ數千枚を印刷して之に蠅叩き一本を添附し市內各戶に配布するに至れるが右に付京城府衛生當局者は語る『祭典費の殘金を悪疫豫防宣傳に充當した例は恐らく朝鮮に於ける嚆矢ご見るべくたこひ金額の若干にせよ機宜を得たる善用たるを失はず其趣旨こする所を聞くに由來龍山の住民は年中蚊群の襲來に苦しめられ從つて蚊の媒介によるマラリヤ熱流行地ごして著名なるものであつたが近時一般住民の衛生思想向上に伴ひ日夜蛆虫の撲滅に盡力せる結果、昨今では殆ご蚊の

出現を見ずマラリヤ熱の如き之を數年以前に比すれば全く何十分の一かに減少されたりご云ふ是は確かに衛生施設向上の賜物であつて若し朝鮮に於る總ての人が斯の如き熱心を以て衛生施設を行ふたならば則して悪疫の流行を豫防し得べく祭典費を利用する以所則ち茲にありと云ふてあり云々

死か生か……（一）
寂しき人々の群
ドミトリエフ一座漂泊譚
深い災厄の谷間へ

ドミトリエフ一座は憧れの日本に行かふごした、日本や亞米利加は燦たる黄金を持つた高い山のやうに彼等の前に聳へてゐた、けれごそれは大變な思ひ違いであつた、トミドリエフ一座は憬れの高い山を見詰めてゐる間に段々深い

災厄の谷間に墜ちて行くのに氣が付かなかつた悍愛丸が下關の棧橋についた時には彼等は初めて自分達の前に潜むでゐた禍に氣がついたその時には遲かつた、禍はトミドリエフ一座にしがみついていくら身悶へしてもその禍を振落す事は出來なかつた。

弦月のほの明るい海を見て、老イワンは鬚ムシヤな顏から涙をボタ〳〵流した。ニイチエオ!!、彼等はそんな事は言へなかつた、金が無い病人は呻吟してゐる、女達は涙を嚙みしめて醒め顏をして居る、子供等は倒ご

旅の疲れで眠つてゐるもの、その憔れた顏には待合室の電燈が仄明るく照してゐる。『神よ、此の可哀な者共を救つて下さい。』老イワンは頑丈な腕でブラウスラヴヌイの祈りを繰返した十九日の朝トミドリエフ一座は力ない姿で動き出した。

大變急がしい。それは幸福への働きではない悲しい〳〵急がしさなのであつた何にも知らない子供等は自分等の行きつく處には大きな幸福が待つて居るやうに思つて汽車や船の乘り降りには喜むで無心な喝采をするのであつた

羽根布團こ三歳になるライカが抱いて對馬丸に乘り込むだ、男達は病人を運び子供を運ぶこ次には無くつても良さそうに思はれるボロボロの荷物を運んだ。對馬丸は下關を出帆した、六連島の青い山が水平線に見えなくなつた時にはもう

憧れの日本は彼等から遠く飛び去つてしまつたナスターシヤは何も思ふ元氣もなかつた『私達は怎うなつて行くのだらふ』而憔れた彼の女の顏にはいつまでも霧のやうな愁憂のベールは除かれなかつたナスターシヤは

瀕死の白鳥だ彼女等はチャイカの曲も歌へない程疲れ切つて居る。

出稼邦人百六十名饑餓にせまる
急電に接し救助艦の急行

五月十七日沿海州デカストリー南方約二十里シミに上陸せる邦人出稼人百六十名は上陸後直に糧食の缺乏に陷し一同餓死に瀕し同地郵便局より電報を以て亞港派遣軍に救助方を申し出でたるにつき派遣軍にては附近遊弋中の驅逐艦若葉を急行せしめたり（[illegible]發電）

歩兵大尉の割腹
部下の犯罪に責任を感じ第七十四聯隊第一中隊長が

咸興第七十四聯隊第一中隊長森縣士族步兵大尉吉野勝太(三七)は二十四日午前四時自宅官舍に於て日本刀を以て割腹自殺を遂げたり原因は部下兵士に犯罪者を出したるを深く憂慮し責任自覺の結果なるもの、如し（咸興特電）

會寧郡の山道で二人の死體發見
嫌疑者こして支那人二名引致取調べ中

咸北會寧郡花豐面十心洞東方約一里を隔つる山道に鮮人二名殺害され居るを此程發見したが鍾城郡鷹谷面金仁七(三五)外一名で去る三日夜慘殺されたものらしく尚現場の模樣で強盜の所爲ご推斷し會寧署は極力犯人搜査の結果嫌疑者ごして支那人二名を引致取調中

元町本願寺の賽錢箱紛失
行方は裏山で調べて見るこ中はカラッポ

龍山元町二丁目の本願寺では二十二、三の兩日に亘り讚佛法會を執行して善男善女が南無阿彌陀佛ご喜捨した賽錢箱の中は銀貨こ銅貨を混て約そ數十圓に達する程の見込あるものなりしが廿三日午後二時頃から翌廿四日午前八時頃までの間に於て本堂に備付けてあつた此の賽錢箱が足が生いて裏山に抜け出し漸く發見して調べて見るご肝腎な賽錢が一錢もない、これは一大事ご二十四日朝龍山署に盗難屆を出した。

家出女
自殺せずやご目下嚴探

府內林町三百番地大日方師夫姉寄子(二〇)は妙齢なる美人なるが二十二日午後十二時頃家人の眼を盗み密に外出せしま、數日經れごも歸宅せず家人親戚は自殺の虞あるので心當を探索中なるも行方は皆目知れず思ひあぐめる末其筋に搜索を願ひ出でたるが其處に入り込んだ事情の伏在するらしいご

何處へ行く
盛況を極めて更らに日延

朝鮮傳道後援會主催、本社後援の活動寫眞大會は既報の通り廿三日午後八時より京城公會堂で開催、呼物の『何處へ行く』長尺のフイルムが人氣を呼んで開場後は忽ち滿員ご云ふ盛況、觀衆千五百に達したが未だ收容し切れぬ觀衆が少くないので更に來る廿七日再會に決したが問題のクオヴアジスは仲々立派な寫眞であつた

街上悲喜

○轢殺車手の危篤 二十三日午後十時頃龍山驛構內に於て第四十一列車組成中入換の際龍山機關區檢査手西谷直市は車臺點檢に當り左足を負傷せるを以て應急手當の上鐵道病院に入院せしめたりご

人ごあつまり

○內地農業視察團出發 京畿道管內の篤志を以て組織した內地農業視察團二十名は穀種課長引率して二十五日午前九時三十分南大門驛發、二十五日間の豫定であるこ

○自動車の講習會 京畿道では二十四日午前十時から會議室に於て市內自動車所有者消防警察務局及京畿道保安課、勸業土木課員等の爲めに保護自動車檢査官唐原中佐を聘し自動車及飛行機に就て講演があつた

運動界

仁川教育會運動部庭球試合

仁川教育會は其の組織を擴んし講演部運動部娛樂部研究部等各々活躍を期して居るが廿一日は先づ其運動部の發會を舉げ午後三時から各校職員を網羅組織された庭球大會が女學校コートに催うされ午後六時半盛況裡に終了した因に同會運動部では教育會チームとして野球選手を出し秋の大會に於ては猛烈に其の技術を見せようこの意氣込みであるこ（仁川）

社債償還公告

一、當會社第三回社債第二次償還（金貳拾五萬圓）ノ處左記ノ通リ抽籤ニ付債券引換ニ御支拂可致候

一、償還期日　大正拾年五月參拾壹日

一、支拂銀行　朝鮮銀行本支店出張所、株式會社漢城銀行本支店出張所（在外國支店出張所ヲ除ク）

大正拾年五月拾六日

東洋拓殖株式會社

●百圓券は號（四拾枚）

五九　六一　一二二　一三一　一九七　二二六　三五〇
三二八　三五九　五七六　六一一　六六〇　六九〇　七〇一
七一八　七六三　八七三　八八五　八九〇　八九一　九二一
九四九　九六五　一、〇三一　一、〇四三　一、〇五六　一、一二四　一、二五三
一、三三四　一、三六七　一、三九〇　一、四〇八　一、四二三　一、四二八　一、四五二
一、四七〇　一、四八五　一、五〇二　一、五〇三　一、五二〇

●五百圓券ろ號（參拾貳枚）

七　三八　八七　一一八　二八〇　三二五
三六〇　四〇六　四三〇　四七〇　四九六　五三七
五七二　六〇一　六七〇　六九八　七二〇　七三一
七三二　八〇〇　八二二　八五九　九五七　九七四
九九〇　九九九　一、一四三　一、一五五　一、一九〇　一、二三九
一、三五一　一、三六四

●千圓券い號（貳百參拾枚）

三　二九　三五　七七　一九〇　一九九　二六七　三六〇　四八四　五五六　五六六　七五一　八〇六　八四八　八五九　八八六　九七六　一、〇二八　一、一五一　一、一九六　一、一九九　一、二三二　一、二七五　一、三一一　一、三四八　一、三五九　一、五〇五　一、五五四　一、五九八　一、六二七　一、七〇四　一、七一六　一、七三二　一、七六八　一、八一六　一、八六七　一、九〇二　一、九六一　一、九六二
二、〇三六　二、〇五六　二、一一六　二、一四六　二、二二七　二、二三五　二、二七三　二、三六二　二、三七五　二、三八五　二、五〇六　二、六〇〇　二、六三一　二、六三二　二、六九〇　二、八三九　二、八四五　二、八七四　二、九二〇　二、九八六　三、〇〇八　三、〇二一　三、〇二六　三、〇八一　三、一一八　三、二二五　三、三一二　三、三五三　三、三五四　三、四〇四　三、四一〇　三、四五〇　三、四九七　三、五三九　三、六〇二　三、六六九　三、六七〇　三、六八二　三、六九四
三、七二九　三、七六九　三、八四〇　三、九一三　三、九五二　四、一〇〇　四、一〇三　四、一一六　四、一五四　四、二〇四　四、二八二　四、三三六　四、三四四　四、三五三　四、四六三　四、六三一　四、六七七　四、七〇二　四、七二一　四、七七八　四、八二三　四、九三五　四、九三七　四、九四八　四、九五〇　四、九五五　四、九六四　五、〇二三　五、〇三四　五、〇八四　五、〇九九　五、一二四　五、一七二　五、二一三　五、二二三　五、二三三　五、二三四　五、二五六　五、二六〇
五、二七五　五、二九八　五、三二一　五、三六八　五、三九九　五、四二二　五、四二八　五、四六八　五、五九六　五、六五八　五、八九一　五、九三五　五、九九二　五、九九九　六、〇二四　六、〇三四　六、〇八四　六、一九九　六、二一二　六、二三一　六、二七二　六、二八一　六、二八二　六、三〇二　六、三三四　六、三六九　六、四二五　六、四三一　六、四六〇　六、四九〇　六、五三二　六、五五三　六、五七六　六、五九五　六、六二五　六、六三八　六、六四三　六、六五八　六、六六七
六、七八八　六、七九〇　六、八一三　六、八四七　六、九一八　七、〇九三　七、一七八　七、二三七　七、三〇九　七、三三〇　七、三三四　七、三四六　七、三五八　七、三七四　七、四三四　七、四四三　七、四四四　七、四七六　七、四八三　七、五〇一　七、五一一　七、六〇二　七、六一八　七、六二〇　七、六二八　七、六三六　七、六七五　七、六八八　七、七〇二　七、七〇四　七、七〇七　七、七一一　七、七一三　七、七二七　七、七五三　七、八〇五　七、八二二　七、八四五　七、九七〇
八、〇四六　八、〇六一　八、一五一　八、二三七　八、三〇三　八、三二九　八、四〇〇　八、四二七　八、四三二　八、四四五　八、四七六　八、四七七　八、五一三　八、五一六　八、五一九　八、五三三　八、五三七　八、五六七　八、五六九　八、五七一　八、六九六　八、七三七　八、七六〇　八、八六四　八、九三一　八、九六七　八、九八四　八、九九二　八、九九三　九、〇二一　九、〇四九　九、〇五六　九、一二八　九、一五三　九、一九九

クオヴアヂス活動寫眞再開會

來二十七日（金）午後八時開會（六時開場）於公會堂

二十三日夜開會仕候處定刻前滿員の盛況を呈し多數の方々に對し不得已入場御斷りを申上候段不悪御了承被下度就ては前記の通再開會仕候間御觀覧の程希望仕候

一 二十三日附入場券未使用分ハ當日通用ス　入場券賣捌所は從來の通

主催　朝鮮傳道後援會

酸素低價提供

當會社は我國に於て最先に酸素の製造販賣を開始せしを以て斯業に對する經驗も多く製品も最も優良なり酸素吸入用何れも滿足なる事並に熔接斷截諸器具は最も精巧輕便にして能率最良なりこの信認を博し居り候

一、當社は此工業の大なることご我國の需要に對しても絶對に供給上の御不便なり、故に如何なる御需要に對しても無之候

一、當社の小倉工場及廣島工場は朝鮮・滿洲・支那方面に對する供給上最も便利の地にあるを以て運搬の迅速運賃の廉安なること到底他の社工場の企及し得ざる處に有之候

一、滿鮮・支那方面御需要者には此際特別御便利を計る爲め酸素及び諸器具類を充分低廉に御勉強仕候間速時御申込を希望

一、素の容器（酸素瓶）は堅牢安全なる點に於て他に冠絶せり創業以來十有三年未だ曾て當社容器の破裂瓦斯爆發の事故を生じたること無之事を誇りこ致居候

一、當社は諸鮮・滿方面に於ける需要者の御便利の爲め當社の特約店を方々に設けまする方には工業用酸素及び吸入用酸素各別に販賣致すべきを以て營業證明を添へ東京本社宛て御申込を乞ふ當社營業品目種左の如し

工業用品目　工業用酸素　熔接用吹管及火口　截斷用器具　熔接棒、熔接劑　瓦斯發生器及ぴ全件

吸入用品目　吸入用酸素　吸入器　酸素併用噴霧器

筑前小倉市外篠崎　日本酸素株式會社小倉工場

廣島市船入町　日本酸素株式會社廣島工場

東京市京橋區銀座三丁目一番地（本社）日本酸素株式會社

其他の營業所（名古屋工場◆大崎工場◆龜戸工場◆大阪出張所◆福岡出張所）

日本人は先づ日本を知れ

有田ドラッグ商會主　有田音松

自家の歴史を知り、自家の現狀を知ることは何人にも必要である。他の家と比較して貧しきか富めるか等のことも亦承知せねばならぬ。若し之を知らねば他人と交際するに當りて、相當の義理を盡すことが出來ぬ。又身分不相應の事をすることもある、のみならず自家を發達せしめ改良しやうとの考へも起つて來ない、で自家の歴史と自家の現狀と他家との關係を知るは處世上必要なることは、更めて言ふ迄もないことである。之と同じく苟くも日本人たるものは日本を知らねばならぬ。

學校に於て日本の歴史を教へ、日本の地理を教ふるは、日本を知らしむる目的である。然れども單なる歴史は僅に過去の事實を列擧するのみで、國の精神も人心の根柢も察すことは出來ない。地理は單に山川湖沼の配置を眼目として居る。之れ丈では日本其ものを理解せしむることは出來ない

日本には立國の精神がある

其の精神を知らないで、日本を論ずるは、恰も形骸の末を以て人間を論ぜんとするが如く、不當である。住所姓名、家族關係、身體髮膚、衣服飲食等を知つても、人間全體を知つて居るとは謂へぬ。如何なる宗教を信ずるか、如何なる言語を用ふるか、嗜好は如何、趣味は如何など精神の内部に立入りて之を考へなければ其人を明かにすることは出來ない。心の底に潜めることは自分でなければ知ることは出來ぬ、たから己れを知る者は己れに如かずと云ふのである。

日本人から見れば、外國の事は完全に理解することは出來ない、西洋人が子供を取扱ふを見れば殘酷に思はれ、西洋人が大笑するを見れは、犬や猫が喜笑するに似て、何等意味がないやうである、けれども彼等自身より見れば、決してさうではあるまい、外國人が日本人を見ても同じことであらう。

日本に生れて日本を知らない

ものは馬鹿の骨頂である。博士とか學士とか肩書を有するもの、中にも、日本の歴史を知らないものがある、又我國語を解せないものもある。此等の輩は日本の精神を知らないから歐米の物質に心醉するのである。今の教育制度にも缺點はあるが、第一教師の頭腦が空虚たで、學校を卒業した青年が中に日本の精神を知らない者が多いのは無理からぬことである。故に制度を改良し、教師の頭腦に日本の精神を注入することは、焦眉の急務である。

云ふ迄もなく綜合家族制度は、我日本の立國の大本である、これあるがために我國體は世界萬國に超絶して居るのである。我國が萬世一系の皇統を戴き、泰然自若として東海の一角に屹立し、三千年の間獨立し、未だ曾て外侮を受けないで、國光を八紘に輝かして居るのは、此綜合家族制度の賜である。然るに日本に生れて日本の粟を食みながら、立國の大本たる綜合家族制度を知らない者が世間に尠くない。立國の大本を知らない者は取りも直さず日本を知らないのである。之余が日本人は先づ日本を知れと絶叫する所以である

我日本民族は統一性に富むで居る

一體我日本民族は、歴史以前から次第に統一されたのである。其統一されたと云ふのは、天孫に依つて統一されたのであるが、其結果統一性といふものが非常に發達して來た、天孫に依つて統一された民族であるが故に、此統一性がズーッと今日まで續いて來て居るのである。吾々の祖先が外國文明の長所を採つて自分の物となし、消化して來たのは統一性の結果である。儒教が百濟から輸入されると我物として發展さした。佛教が百濟から日本に輸入されると、之も亦我物として發展させた。支那の文明であらうが、印度の文明であらうが、總てを自分の物になし、自分の營養分として、發展を遂げて來たのである。吾々の祖先は外國の文明を丸呑にはしないで、其長を採り短を棄てたのである。又明治維新以降は、歐米の文物を採り、營養分として倍一層發展を遂げた、明治大正を通じて約半世紀の間に、我國が異數の大發展を遂げ、世界五大國の班に列した原因は何かと云ふと

綜合家族制度の下に歐米の文明

の長所を採つた爲めである。我邦は總てさう云ふ外國の文明の長所を採つて、盡く我物となし、之を統一して行く所の統一性が非常に強い、言を換て云へは、同化せしむる力が非常に強いのである。儒教が渡來した時でも、佛教が渡來した時でも、之れに心醉したものもある、けれどもそれは唯一時の事で、矢張り終りには國民性に立歸ります。さうして詰り統一をする。例へは儒教全盛の時代には、遣唐使などを支那に派遣して、餘程支那にかぶれたが、菅公の和魂漢才の意見によりて國民性に立歸つた。德川時代に於ける儒學の盛なる時代に於ても隨分支那かぶれがあつた。一例を擧ぐれは、德川時代に於ての學者の名が支那人と同じやうなのが澤山出來た、就中例の物徂徠は、荻生惣右衛門と云ふのが本當の姓名であるが、荻生惣右衛門と云ふと米屋だか魚屋だか分らぬ偉さうな名でないから物徂徠と名乘つた。支那に石徂徠と云ふ學者があつたから、それに眞似て物徂徠と名乘り支那人になり濟した氣で大に喜んで居たのである。日本人は荻生惣右衛門で一向差支ない、支那人のやうに三字名にするのが何にも偉いことはない、けれども其時代には、荻生徂徠とか物部徂徠と云ふのは

支那人らしくないので物徂徠

と云つた、其門人等はどうかといふと、服部南郭は服南郭、山縣周南は縣周南、安藤東野は藤東野、平野金華は平金華とした。今日ではそんな變な名を附けることは可笑しい、けれども其當時は可笑しいどころではない、偉いと感じたのである。江戸と云ふ名も面白く無いと云つて、物徂徠は武昌と云つて居る、武の字だけ武藏に關係があるけれども武昌では分らぬから、徂徠派の地名字語がある、それで引いても能く分らぬ、けれども幾分か參考にはなる、其當時は支那にかぶれて居たので、實に數へ立てると愚な事が澤山あります。其爲に儒學を實社會に應用すべく一の學派を編み出した一世の奇傑

勤王家山鹿素行も始は漢土を

尊んで、中華、中國、聖人の國とし、道は儒教に在ると信じて、支那を崇拜して居つた。然るに素行は我國體の秀拔なるを自覺して、我邦を中朝中國と稱し、支那を外朝と呼び、我國の皇祖皇宗の道を述べた。素行が我國の歴史上に殘せし功績は彼の不遇と共に直接ではなかつたけれども、滔々たる時流に染まないで、幕府の權威に屈せず、間接に勤王論を鼓吹せし功績は沒すべきでない、赤穗義士大石義雄等四十七士が忠孝の擧に出でたのも、間接に素行の感化を受けたのである。明治維新の功臣は多く山鹿の學統から輩出した。武士の典型たる乃木大將は實に此素行を私淑して居たのである。

山崎闇齋は僧侶であつた

が、佛門を脫して儒學を學んだ。山崎は程朱の學を奉じた、けれども後には一種神秘的神道を唱へた。闇齋の門から出で、大に大義名分を唱へたのは細見絅齋である。闇齋の學統からも澤山の勤王家を出した。

當時の學者の大部分は幕府の權勢に諂び、家康を神祖とか神君とか尊稱して居た、甚だしきに至りては、德川氏に對して、皇室に對しらはしき呼ぶるやうな大不敬者もあつた。此時に當つて、權勢を怖れず、之に屈せないで、自家の主張を鼓吹した、素行なり闇齋なりは實に見上げた傑物である、其後多くの國學者が輩出し、佛門からも大義名分を唱へたものもあつて、遂に明治維新の大業を遂けたのである。

明治維新後歐米の文物を輸入したので、歐米にかぶれたものは澤山あるが、今二三の例證を擧げて見やう。帝大總長であつた男爵加藤弘之は「歐米人と對等の交際をしやうと思ふなれは、先づ歐米人と結婚し、日本人の多數が、混血兒となる時を待たねはならぬ」と論じた、それは洋行歸りの時で、歐米の物質的文明に醉ふた反影である。實に馬鹿げた議論で、批判する價値もない、が加藤も其後本心に立歸り、國民性を發揮し、國粹保存を說き、基督教嫌となり

基督教の害毒と題する著書

を世に公にした。

福澤諭吉の如きも隨分亂暴な議論をしたもので「日本を米國の保護國と爲すに非れは到底其存在を保ちて發展することは出來ない」と公言して憚らなんだ。彼は新知識を普及するには、著述に限ると思ふたので「西洋事情」「世界國盡」抔を著し、後には「學文のすゝめ」と題する雜誌を發行し「福公の親死は補助の自給に同じ」などの奇說を叫いて世を驚かしたが、其後穩健なる時事新報を發行し、傍ら育英の事に從ひ、多くの俊才を其門より出した、加藤でも福澤でも學者であるけれど、心醉した時は仕方のないもので斯る亂暴な說を唱へたこともあつた、故に學者の說であるからとて信ずることの出來ない場合もある。

板垣伯は自由民權の主唱者で、隨分突飛なる破壞的政論家であつた、けれども立憲政友會設立の當時、歐洲を視察せられて政海を去りてより、只管社會問題の研究に沒頭し、頗る着實健全なる理想家となり、國體の尊嚴たる家族制度保全の立場から

板垣伯は普選に反對して戸主選擧權

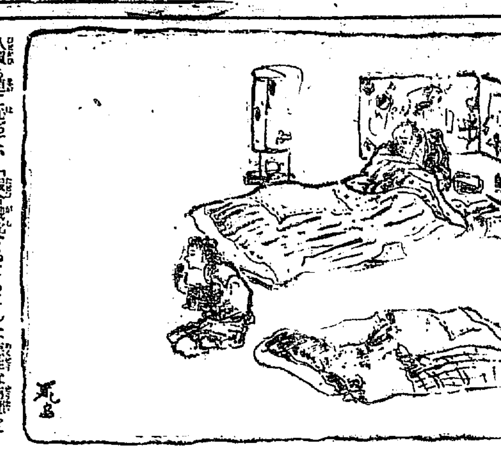
を主張した（それは伯の著述に係る立國の大本に詳論してある）伯が一代華族論を唱へ、嗣子をして襲爵せしめなんだのは、所謂言行一致で、世の碌々者流の眞似ることの出來ない擧措である。

壯年時代には何人でも過激な議論を唱へるけれど、年と共に着實穩健になる、加藤、福澤、板垣伯は其適例である。其れに就て曩に普選論を唱へ、今は軍備縮少論を賭して、各地に興行的演說を爲しつゝある尾崎行雄は如何であるか、年齒は既に悟を開かねはならぬ年齒である、然るに彼は個人主義を主張して青年を煽動し、實行の伴はざる空論を捲き廻りて平地に波瀾を起し、人心を惡化せしめつゝあるのは、實に悲しまざるを得ぬ。若し彼の辯說を以て、世道人心を誘導し、混惑せる思想を善導すべく活用したならは、終を全うするであらうに惜いことである。

看來れは古より今に至るまで外國の文明にかぶれて、國家の存立を危殆に瀕せしむるやうのことがあつても、それは唯一時の現象で、何時しか國民性を發揮して同化せしめて來た。故に陛下の御稜威の下に、悉く神州化して、金甌無缺世界無二の綜合家族制度を千萬世に傳へ得るであらう

孝思ある三郎兵衛

昔は人買とて淺間しくも人の子を奪ふて遠國へ賣飛はすを業とする者あり、今より百年前の昔、或人買が九歳はかりの男の兒を買ひ、携へて江戸より奥州へ往かんとする途すがら、子供は路上に墮ちたる紙屑を拾ふては袂に入れ、拾ふては袂に入れる人買も不思議に思ひ「何の爲にするか」と問へは、「兒は江戸湯島の四丁目に住む紙屑商三郎兵衛の悴である、かうして拾ふた紙屑を父に見せなは、父も嘸かし喜ばんと思ふてなり」と鮮かに云ふ、宿屋に泊つても、決して江戸の方へ足を向けず、又朝起きれは必ず父母の名を呼んで禮拜するといふ始末、己が遠國へ賣られゆく身とは知らずに、さてもいぢらしいこの擧動



人買も道に恥ぢて、「假令餓死するともこんな惡性な商賣をするものでない」と心の底から悔悟して、江戸へ引返し、その兒を湯島の親の手許へ送り屆けた。數年の後一人の僧あり、わざ〳〵江戸へ來て、紙屑商の家を訪ひ、「我は先年此所の子供を奪ひ去らんとした人買なり、後生の程も恐ろしさに今は改悛してこの通り」と墨染の袖を濕した、誘拐されんとした前の子供は老いたる父母を見送つて、今は當家の主人となつてゐる、名も三郎兵衛とつけて父の家業をその儘に、今は町內でも屈指の商人になつた、で、その僧を歡待して一夜を別後の物語に語り明した、三郎兵衛の孝思、終に極惡の人買を改悛せしめたといふ小說のやうな實際の美談である

孝順なる姉妹

丹波の國境に毘沙門山といふ山がある、その麓の村にいと貧しき姉妹の者があつた姉は先妻の子で十七歳、妹は後妻の子で十歳、父はすでに亡くなつて、今は只一人の病床にある母に孝養を盡してゐたが、女手の思ふやうには働けず、妹は果物を城下に持ちゆきて之を賣り、姉は山にゆきて薪を樵り、又は他家に雇はれて、細々ながら其日の煙を立てゝゐた、併し思ふやうに孝養も出來ないので、姉は都へ身賣して、その得たる金を贈るゆゑお前は宅に居て母に充分盡してくれと言ひ出した、妹はそれが哀しくて堪らない、姉に別れては甲斐ない晩に母を安んずることも爲し難からん、これは何うしても思ひ止まつて貰はねはならぬ、さりとて有餘る金があるではなし、神の力

を借りるより仕方が無いと、決心して夜毎に近所の毘沙門堂へ參詣して祈願を籠めた、今宵は滿願の日である、是非に詣かねはならぬ、されど暗さは暗し雨は篠つくばかり、姉は道に見兼ねて、之を阻止したが、一心籠めた妹には暗の夜も雨の音も苦にならぬ、その儘毘沙門堂さして出掛けた、御堂の中に火影が見える、二人の盜賊ありて雨に濡れた着物を乾してゐる、妹は賊であることを知らないから、自分も堂の中へ入つて互に顏を突合せた、十歳の小娘がこの夜中に雨も厭はず、何をしに來たのかと賊は驚いて問ふ、娘は事の次第を逐一に物語つた、母の爲、姉の爲に遊び盛りの小娘が、さりとは殊勝な心掛と二人の賊も涙を流して語り合ひ互に何事をか眼ませしてゐたが、苦心して盜み取つた金銀を袋の儘に、衣類さへ添へて、惜氣もなく娘に與へた、二人の賊は夫より良心に立歸り、正業に就き、暗々裏に孝女を庇護したさうである、至孝の心天に通じ鬼神も感ずとは此等をいふのである

親不孝の外來思想

孝道を封建の遺物と罵倒し人心を混亂せしむる惡思潮

有田ドラッグ商會主　有田音松

歐米は個人主義の國である、個人主義は權利義務を主張する、權利の何たるを問はず、極度に達すれは必ず弊害を生ずるもので、歐米の個人主義は、親子の間にまで及ぼされ、權利義務が振り廻はされて居る。卽ち子供は親が産んだのだから、其子供を養育するのは親の義務である、子供から言へば、産み出された以上は、教育して一人前の人間にして貰ふ權利があると云ふのである。

權利とか義務とかを主張すれは親子間の情誼も頗る冷かなものになる、故に歐米の子供から云へは「何も自分の方から頼んで産んで貰つたのではない、親達が勝手に作つたのだから別に恩は無い」と云ふのである、又「人間は獨立心が必要で、親は自分で衣食するが當然である、子供は親を養ふ義務は無い、親は子供に養ふて貰ふ權利は無い」と云ふのである。

子供が成人して結婚すれは別に一戸を構へる、子供等は大厦高樓に住居し山海の珍味佳肴に飽き榮華の生活を營んで居ても父母を顧みない、彼等は夫婦本位であるから(男女同權は是より起る)父母が乞食をしやうが、野垂死しやうが、平氣で居るのである、歐米には孝が行はれて居ないから、年老いて路頭に迷ふものが多いので、國の事業として養老院と稱する救養所を設けて居る、我邦にかゝる機關を設くる必要を認めないのは、孝の行はるゝ證據である。

父母の恩を思はぬやうな歐米が文明國であると云ふは眞赤な嘘言である、歐米の文明は物質的文明で眞正の文明でない、嚴格なる意味に於て、歐米の文明は日に月に退歩し漸次禽獸に近づきつゝある。

我日本人はどうしても父母の恩義を思はずには居られない、そして力の及ぶ限り父母を孝養せずには居られない、だから「孝」と云ふ文字の無い歐米の思想を排斥するのである。請ふ暫く余をして父母の恩を語らしめよ。

自分の身體はどうして出來たか

先づ之を研究せねばならぬ「自分が此に存在するは、皆で親あり自分を産めるに由る」など云ふやうな、粗忽千萬な考へを起してはならぬ、動物ならいざ知らず、苟くも人間として云ふべき言でない動物は單に産んで貰つたのみで生れた其日から獨立的生活をして養育の恩を被ることは殆どない(少數の哺乳動物を除く)然るに人間は親に産んで貰つたはかりでは決して大きくなれるものでない、産んで貰つてから多年一日の如く、眞に容易ならざる養育の恩を蒙りて大きくなつて來たのである、だからして産んで貰つた恩よりも育てて貰つた(産みの親よりも育ての親)恩の方が、幾百倍廣大であるか測り知ることが出來ないのである。

十年一日の如しと云ふことは、父母が子を養育する上に於て謂ふべき言である、十年も二十年も眞に一日の如く、父母が子を念ひ、子の爲めに身と心とを苦むことはどんなものであらう、口があつても說くことが出來ぬ、筆があつても記すことが出來ない、子を持つて初めて知る親の恩とは此狀を謂ふたのである。

父母が吾々の爲めに苦勞されたことは、吾々が胎外に生れ出た後のことゝはかり思つてはならぬ。我が母は、嘗て吾々が胎內に宿つた其時から、晝夜の起居動作も安からず

三度の食事も常の如く味ふ

ことが出來ない、然るに惡阻深き我が母は何と思つてその日を送つて居られたでせうか、たゞ胎內にある我等をは、晝夜の分ちなく常に念じ暮らすの外はなかつた、願くは完き子となりて生れよ、目鼻端しも正しくあれよ、不具片輪であつてはならぬぞ、朝に夕にたゞつた。世間に人も多く、其中には眞に愛情ある人も少くはあるまい然し我等が未だ此世に生れ出でざる前より、早や旣に我等を懷念して止まざるものがあらうか、我父母を除いて外には唯の一人もない。

母はいのちがけの仕事である

吾々が母の胎內に宿ること十箇月、將に胎外に生れ出ようとする時の母の苦痛は何の位であらう之れは子供を産んだことのない者には分らぬが、其苦痛は言語に盡きて居る。我が母は、十箇月間の苦痛を忍んだ其上に、更に又最後の大苦痛を忍びて吾々を濟んだのである。世の人の子たるもの之を念はなくてはならぬ。

顧へは吾々の母が、かくの如く千辛萬苦を忍んで、其苦痛の中に吾々が産れたのであるが、吾々が正に産れた時の、母の心は果して如何なる狀態であつたであらうか余は男だから之を知ることが出來ないが、婦人の方は自ら之を經驗して、推測の出來る方が多い、難遡は此時に於ける母親の心理狀態を說いて「產兒の鳴くや、母はこれを聞きて歡ぶこと、恰も音樂を聞くに似たり」と云つた。卽ち慈悲深き母親は、今まで五體完き子供であれかしと念ずると共に、臨產の苦痛を受け、辛苦の淵に沈んで居たのが、子供の鳴聲を聞くと共に、吾々が無事に生れたことを喜んで、辛苦を忘れ

子の鳴き聲を音樂と感ずる

位喜はれるのである。

他人よりも己れ先づ好き衣服を着ようとし、また甘き食物を味はうとするのは普通の人情である、然るに慈悲深い父母は、衣服でも食物でも、すべて子供を先にし己れを後に廻はして居る。夜慈悲深い母親は、乳兒を懷いて床に就いて居るが、母親は日中の勞働に疲れ果て前後を知らず眠つて居る此時動もすれは乳兒の尿の爲めに母親の衣裳まで濡らされることがある、最初の間は母親も知らずに居ますが、暫くあつて

母親が眼を覺まして之を知り

ますると、母親自身は濡れの濕れる方に倚つて臥し、之を汚した所の我が子をは、濡の乾いた方へ廻して、安眠させると云ふやうなこともある。斯う云ふことは母親に愛情がなかつたならば、到底出來ることではない、自分の子に對しては愛情が深いから、かういふことまでもするけれど、若し他人の子ならは、自分の子に對する程の愛情が無いから、決して出來ることではない。

また慈悲ある母親が其子供を養育するに當りては、數年の間晝夜我が子に離るゝことなく、常に子供の養育にのみかゝりはて居るのが世の常である、其中でも世話の多いのは

哺乳と大小便の世話である

いかに他のことは忘り勝の人でも、わが子の哺乳と大小便とに就ては忘らない、自分の家に在る時も、外出の時も、さては客分として他の家にある時も、又寒中でも暑中でも、たゞに一度も五月蠅さと思つたこともなければ忘れたこともない。斯の如く言語に盡されぬ母親の世話を受けて、吾々は生長したのである。若し斯の如き世話を受けなかつたならば、吾々は生育することなくして夭死したかも知れぬ。顧へは吾々の母は、如何に多忙を極むる時でも、また疲勞の爲めいかによく眠つて居る時でも、吾々の乳を求むる聲を聞けは、忽ち乳を與へて戴れたのである。

慈悲深き我が母は、家に在る時も、また他家に赴きし時も、心に寸時の油斷なく、常に氣を付けて止まぬのは實に吾々の大小便である。母の子供に對する苦勞は多いが、養育上の大部分は大小便の世話である、それが爲め夏の短き夜も安心して眠ることが出來ないのである。冬の寒き月に嚴寒切骨の斷れ間なきは襁褓等の洗濯の一日として休まない日がないからである、たゞひ吾々の母は慈悲心の深き餘り、これを苦痛に思はざるにせよ子として之を思へは

其恩德は眞に洪大なもの

である。吾々が乳を放れて食に就かうとする頃は、母でなければ之を食はず、母でなけれは之を飲まず、又母の懷にあらざれは眠に就かず、母の手にあらざれは大小便もなさないと云ふやうに、餘程母の手を煩はし、餘人の手にかゝるを承知しなかつたのである。

「國亂れて忠臣現れ、家貧しくして孝子出づ」と云ふ古語がある如く、古來孝子は貧家に多い、然しこれはかりではなく家貧しくして慈親あると云ふ事も亦眞實である。慈悲深き父母は、時に愛子を懷ふ餘り知らず識らずの間に、道德上の罪人となるのみでな

親が法律上の罪人となる

こともある、惡業を造つてまでも、我子を愛し、我子を養育しようと云ふのが親の慈心である。

斯の如き父母の恩によつて旣に成長し、漸く父母の膝下を放れて東西に奔走するやうになれは、慈悲深き父母の心は、倘ほも愛子に附いて離れない、恰も日月の光りが我等の赴く處に隨ひ來りて離れないやうに、子の行く處に附いて離れないのである。子供が山に遊べは父母の心は山に、川に赴けは父母の心は川に、學校に行けは父母の心は學校に附いて行つて居ると云ふやうに、子供の行く先々に附き添うて晝夜常に離れないのは子を懷ふ親心はかりである。かくの如く父母の心が

愛子の行く先々に附き添うて

暫くも相離れないわけがらは、固より種々の事情もあるであらうけれど、歸する處は愛子の幸福を念ずると共に、愛子の身の上に危險があつてはならぬと、それを恐れて心配するからである。

我が父母は、吾々が未だ此世の人となつて生れざる以前より、常に吾々を懷念して止まざる大恩人である。初め吾々が呱々の聲をあけて、乳を求めた其時より、餘に和を覺ゆる其時まで、吾々を懷念したまふ心は一日も變らない、實に十年一日の如くであるのは父母の子供に對する慈愛の心である。世間には往々にしてものは澤山あるけれども、世の父母の子供に對する大なるは恐らく他にあるまい、海よりも深く、天地間何物も比すべきものがない。

人は恩を知り、恩に報いねはならぬ、恩を知らない者は禽獸と同樣である、人に生れて父母の恩を思はず、父母を厄介視する者は人面獸心である。故に我邦に於ては孝の道が尊ばれ、孝は百行の本となつて居るので、忠も孝も愛も皆此孝から出發するのである。

父母の注意

孝は親から強ふべきものでない人の親たるものは、自家の祖先を崇敬し父母に孝養を盡して範を示さねはならぬ、若し父母此世を去られは、祭祀を營み、年忌を行ひ、又は佛壇に向ひて、祖先乃至父母が世に在ますが如く仕へまつらねはならぬ、さすれは子供は之を見習ひ必ず祖先崇敬の念を發揮し孝道を盡す觀念を起すであらう。又父母は品行を端正にし進退出處に留意して子供を看護すべく努めねはならぬ。斯る見易き道理は何人も能く知悉する處であるけれども世の中には學問を修めながら孝道に背く者が多い。蓋し不孝の外來思想に醉ひ、孝道の[illegible]たれ行くを輕視するに[illegible]此[illegible]國を[illegible]したのである

孝子近江新六

近江新六は近江國蒲生郡安土の貧農であつた、妹と共に朝は星を戴いて出で、夜は更くるまで業を勵みて、九十歳になる父に孝養を盡せしを以て、終に領主の知る所となり、少からぬ恩賞品を拜領した、併し新六は少しも誇りたる色なく「われまた孝といふほどの事をしたことがない、たゞ年老いたる父の心に逆はぬやうにすることを心掛けてゐるだけである」といつて恩

賜のあつた事を恥ぢ少しも誇ることをせなんだ、父が年老いて外に樂みがなく、神佛に參拜することを唯一の樂みとしてゐるので、新六は父の意に從ひ、朝早くより、兄妹二人で父を竹の輿に乘せ、先づ氏神に詣で、それより寺院にゆきて說教を聞きその寺にある先祖の墓詣りをさせて歸る、そして[illegible]の日には一日も之を缺かしたことがない、名も無き農夫の身でありながら尊むべき此等の行は、後人の深く追慕せねはならぬ事である

孝女お米

米は周防國德山の人、年六歳にして母を失ひ、十二歳にして父が赤痢に罹つた、世の常ならは遊び盛りの娘の子に、これは何ぼうした不運であらう、米は日毎に隣保の爲に米を搗くが、體が小さくカの劣弱なるを疎ましく思ふてか、大きな石を腰に括りつけて、その重みで搗くのである、その上夜は紡績して、碌に寢もしないで、儲けた僅の金を悉く父の扶養に投じた。父も之をあはれと見て、屢々水に投じて死せんとす、氣附いた米は油斷が出來ない、父の傍を離れずに看護する、その片手間には手內職をして、其日々の活計を助けるといふ始末、これが天に屆かいでは神も佛も無い世なり、果せる哉、藩主より米若干を

賜つた、けれど父の病氣は中々以て覺束ない、米は弘法大師の靈場に巡拜せんことを思ひ立つた、で、父を載せて四國に航し、或は負ひ、或は扶けて終に八十八箇寺を滯りなく參拜した、孝女のこの振舞には旅籠屋も錢を取らず、船家も喜んで之を渡らせ、道ゆく人も涙を流して之を憐はつた、然るに悲しや父の病は重るはかり、六十八歳を一期として、或日の夕暮終にあの世の人となつた、嗚呼三十年のその間、常に孤苦、艱難窮乏の狀、赤貧洗ふが如きこの娘に天は何處まで辛き目を見するか、米は慟哭止まなかつた、藩主は又も白米若干を賜ふたが、至孝無比なる米は、之を命に代て父母の墓を建て、そしてその墓側に茅屋をしつらひ、生涯をそこに葬して、亡き父母の靈に仕へたのである。

營口通信

銀行の低下率と此關係に於て利[illegible]下の効果を有効ならしむる爲に[illegible]

△連絡運賃引下と營口の利害

[illegible]以北の連絡驛より出荷し[illegible]大連へ二十八錢五三一營口へ二十七十七錢五五なり卽ち營口の利[illegible]四錢五〇〇となり一噸當りこ[illegible]は百キログラムこ[illegible]

[illegible]距離的距離比例を主張する營口[illegible]としてはかくとも[illegible]可能否戰前の營口長春は大連と同じく八圓三十錢なりしに見れ[illegible]

盛會な祝賀會

町內總代役員完成記念

[illegible]路非府尹の挨拶、藤川知事の祝辭の朗讀、矢島總督府第二課長中山[illegible]法院長の祝辭朗讀、關野[illegible]に時を移し同九時過ぎ[illegible]

東拓總會

一割配當可決

東洋拓殖株式會社第十三回定時株式總會は二十三日午後二時より東京商業會議所內樓上に於て開會先づ石塚總裁の演說ありたる後營業報告の承認を爲し引續き利益金處分案（配當年一割）を可決し次で任期滿了の幹事高德藏、遊鎖泰兩氏の改選を行ひたるが何れも重任に決定し同三時五分散會したり（東京特電）

東亞解散說

頃日一部に於て東亞煙草會社の解散說を唱ふる者あるが右に就て某煙草關係者の談に依れば解散說は到底實現さるべきものにあらず亦政府として同社解散には同意せざるべし唯一部に於て解散を唱ふる者あるは畢竟するに其目的とする所は他に存するが如くにて思ふに同社が事實上引繼後に於て滿洲に於て更に活躍せしむべき手段として株主中に營業政策上の一策に過ぎざるべしと

商議決算額

京城商業會議所九年度歲入出決算額は歲入の部に於て七萬七千二百二十二圓八十一錢にして其豫定を增加すること九百六十三圓九十九錢又歲出の部に於て決算額七萬三百八十一圓十六錢にて豫定額を減ずること五千七百七十七圓六十五錢なり歲入の增加は主として公會堂使用者多きに依る又歲出の減少は所謂の豫定額を要せざるに依る歲入決算額の內譯を示せば左の如し

歲入の部

賦課金	六四、二六三、九一
手數料	九三、五〇
過年度收入	二五〇、〇七
操越金	五、三四五、八二
雜收入	一、七一〇、五一
歲入合計	七七、二二二、八一

歲出の部

所費	三五、一〇六、三五
會議及調査費	二五〇、五六
雜支出	四八、九〇
建築費	二六、三四〇、四一
借入金償却	七、七五五、九四
退職給與基金	八七九、〇〇
豫備費	……
合計	七〇、三八一、一六

殖銀貸出增加

殖產銀行京城本店の貸出額は本年一二月頃及同業者並びに民間貸出金合計一千五百七十一萬餘圓なりしが爾來漸增の姿にて最近三千五百三十四萬二千圓に上り約千三百萬圓の增加なるが原因は同業者貸出の增加七百六十萬圓及一般民間貸出の一千二百三十萬圓の增加による公共團體方面の貸出は金融組合等の貸附關係あるを以て今後に於ては增加を見んも目下の所減少だしき增加を示し居らず

京取受渡日協議

京取市場にては受渡決濟を圓滑ならしむる爲め受渡當日の後場を休會するの意嚮あり仲買人組合にては本日後場引午後四時より臨時組合總會を開きて之を協議すべきが若し實現するに至れば每週月曜日後場は休會となる譯なり

週間取引好感

京城現物の週間取引は內地現物市場に於ても好評を得居るが如く過般來城視察せる東京株式仲買委員長難波禮吉氏の如き其一人なるが一面には短期取引關係者より現在の週間取引は之を一ケ月取引に延長せしむべきものなりと主張する者あるも週間取引の主唱者は現在兎に角に多數の手合せ行はれ居るは一週間の期日に於て受渡し決濟をなすに依り賣買兩者の手詰等にて是非共賣買決濟を餘儀なくさる、所に相場の變動も生じ自然商取引の機だ一因をなすもの故特別の良方法を案出せられざる限り現制度の繼續は京取市場繁榮の好材料なりと謂ふ

鮮鐵在貨不變

五月中旬末鮮鐵在貨は南行五千三百六十五屯北行四千五十六屯合計九千四百二十一顚にして前旬に比し六百三十顚を增加せしが品種別數量は別記の如くにして要するに前旬と大差なく金屬製品に於て大なる增加を見たる は在平壤電氣興業會社用諸機械の輸入ありたるに依る

（△は減を示す）

品名	噸數	前旬との比較增減
大豆	九二三	[illegible]
米		[illegible]
玉蜀黍	二〇	[illegible]
粟		[illegible]
麥		[illegible]
雜穀	三	[illegible]
野菜	四四三	[illegible]
木材	四一三	[illegible]
薪炭	六〇七	[illegible]
石炭	三三四	[illegible]
石材砂利	一二〇七	[illegible]
鐵石	六五〇	[illegible]
鹽	一八八	[illegible]
鹽干魚	二六	[illegible]
豆粕	三	[illegible]
砂糖		[illegible]
綿織物		[illegible]
セメント石灰	三〇二	[illegible]
金屬製品	七〇七	[illegible]
叺莚	一〇六	[illegible]
生牛	二〇	[illegible]
食料品	一三	[illegible]
飲料品	二七	[illegible]
綿糸	一	[illegible]
肥料	七	[illegible]
其他	八八二	[illegible]
社用品	二五四〇	[illegible]
計	九四二一	△六三〇

平澤米界近狀

出穀除力二十五萬石一時十八圓臺を見せ更に急轉直下の氣勢を示したる朝鮮正米も米穀法案の通過に連れ漸次ヂリ高に引戾し二十二三圓臺を見せたるも、人氣更に振はず沈滯を重ね再び逆行を始め　昨今二十圓を唱へつゝある爲め平澤地方に於ける出廻りは激減し地方農家も容易に手放さず此處睨み合の姿にて市況爲に閑散の狀態を示せるも左りとて六月の政府買上を目標に思惑せんとするものも殆ど皆無の狀態にして、人氣は彌が上に腐り今や沈衰の極にあるやの感あり鮮人米商連も米穀

東拓移民勸誘

東拓本年度募集移民勸誘の爲め豫て派遣中なる社員三名は既に熊本佐賀高知縣を經て目下山口廣島香川三縣に亘り殘るは岐阜愛知愛媛縣にして近く夫々歸社すべく勸誘に對する效果は相當良好也

形勢觀望

法案の實施が眼前に控へ目先高の豫想を持せるも麥作が豐作從つて一面に於て地方中農以上の手持品頗る多額なるものあること今春以來の苦しき經驗よりして輕々に買進まず內鮮人を通じて各地の註文に應ずるの外殆ど形勢觀望の體に一致せるもの、如し而して每年出廻りは十一月より始まり四月を以て盛季を終り後半年を閑散季とせるは沿線を通しての通例にして所謂米商の夏枯時と稱せしも近年地方農家が先高に馴れたる結果一時に賣放さず徐々高値を見て取引せんとするもの多き爲め漸次出廻りも平均的に近づきつゝありしに特に本年の如きは今日迄約六分の出廻りを見たるが如く今尙二十四五萬の出穀餘力を豫想せらる

鮮銀券週報

五月十六日より二十一日に至る朝鮮銀行券發行平均高は九千八百二十七萬四千七百七十八圓內正貨準備發行四千九百五十三萬三千四百五十一圓保證準備發行四千八百七十四萬一千三百二十七圓週末發行高九千九百二十七萬六千百二十八圓なり

商議役員會

京城商業會議所にては二十四日午後二時より役員會を同所に開催し九年度同所歲入出決算報告をなせり

〇日銀報況　二十一日現在左の如し

發行高	九九〇、六一三
正貨準備	九九〇、六一三
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	六〇、九八八

〇京阪金利　二十三日現在左の如し

	東京	大阪
コール 無條件	七、	七、
翌日物	六、〇〇	七、〇〇〇
六十日物	一四、〇〇	一五、〇〇〇
普通割引歩合	二四、〇	二三、〇〇〇

金剛砂

▲相場用語の中にドテンと云ふ用語がある▲相場の模樣で賣つて居た者が急に買方針を一變して買に出で買つて居た者が全然賣方針になることである▲早く言へば相場の宙返りである▲目先の早いものはドテンをやる相だ▲京取仲買人中でも新田君などはドテンが好きな方で又ドテンで儲けるのがなかなか巧者だとの評判▲石首魚と云ふ魚は朝鮮人が好きで秋になると淸物の中に入れて珍味珍味と連呼する相だが▲內地人には一寸喰へない味がする▲鹽漬になかなか食ひ難い味がする▲トテモ煮たのは喰へない▲然し煮たのを喰へる樣でなければホントウに朝鮮の內地人とは言へん僕などは煮たのが大すきだ▲こは本町筋の某實業家の談である

株式（廿四日）

京城現株市場出來值

銘柄	前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取 寄引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 寄	[illegible]		[illegible]	
朝銀 寄引	[illegible]		[illegible]	
同新 寄引	[illegible]		[illegible]	
殖銀 寄引	[illegible]		[illegible]	
同新 寄引	[illegible]		[illegible]	
武銀 寄引	一〇・四〇		一〇・三〇	
商銀 寄引	四八・三〇		四八・四〇	
同新 寄引	三三・七五		三三・七五	
漢銀 寄引	三八・〇〇		三八・五〇	
同新 寄引	九・五〇		九・五〇	
鮮銀 寄引	四四・〇〇		四四・〇〇	
東拓 寄引	四七・五〇			
同新 寄引	一六・五〇		一六・五〇	
鮮土 寄引	一一・五〇		一一・五〇	

乙の部

銘柄	前場	後場
京信 寄引	四・八〇	五・一〇
安取 寄引	一八・〇〇	一八・五〇
大新 寄引	一〇・三〇	一〇・一〇
上取 寄引	一七・五〇	一七・〇〇
新東 寄引	一〇・〇〇	一〇・〇〇

短期取引

銘柄	前場	後場
京取 寄引	六〇・〇〇	
鐘新 寄引	三三・五〇	
日糖 寄引		
大新 寄引	一〇・七〇	一〇・七〇
朝紡 寄引		
滿毛 寄引	一八・〇〇	
安取 寄引		

大阪株式

銘柄	二十四日前場寄付	二十三日後場大引
大株	一三九・〇〇	一三三・三〇
同新	一三七・五〇	一三九・〇〇
郵船	一三〇・〇〇	一〇六・〇〇
同新	五〇・〇〇	一二三・〇〇
商船	六〇・〇〇	六〇・一〇
同新	二九・〇〇	二〇・二〇
鐘紡	一八七・一〇	一八九・六〇
同新	一〇九・二〇	一四七・〇〇
東紡	二九〇・〇〇	二九〇・〇〇
日糖	九八・五〇	九九・六〇
上取	七一・三〇	七〇・〇〇

銘柄	二十四日前場大引	二十四日後場寄付
大株	一三〇・〇〇	一三三・三〇
同新	一三〇・〇〇	一三九・〇〇
郵船	一三〇・〇〇	一〇五・〇〇
同新	五〇・〇〇	一二〇・〇〇
商船	六〇・〇〇	六〇・八〇
同新	二九・〇〇	一〇・二〇
鐘紡	一八・〇〇	一八九・〇〇
同新	一〇五・〇〇	一四〇・〇〇
東紡	二九〇・〇〇	二九〇・〇〇
日糖	九八・五〇	九〇・〇〇
上取	七一・三〇	七〇・六〇

東京現株

銘柄	廿四日前場	廿三日後場
鮮銀	二八・三〇	二八・五〇
同新	四三・七〇	四三・五〇
東拓	一五六・〇〇	一五七・〇〇
同新	一六三・〇〇	一六五・〇〇
滿鐵	一二六・八〇	一二七・〇〇
同新	二四・五〇	二四・五〇
殖銀	五二・一〇	五二・〇〇
同新	一六・〇〇	一六・〇〇
東株	一四〇・〇〇	一四三・〇〇
同新	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
東取	一五七・五〇	一五六・七〇
滿毛	一五五・〇〇	一五五・〇〇
朝紡	一九・五〇	一九・二〇
日紡	九七・〇〇	九〇・〇〇

安東株式

〇廿三日後場　安取當先　寄付 一八・七〇　大引 一八・六〇

〇廿四日前場　安取當先　寄付 一六・八三　大引 一六・七三

前場は區々

今朝の京取は內地株の反撥を入れ大新に人氣の集中されたると京信株の強弱戰に商盛を察はれたる事とにて賣買共に見送られ勝にて商内氣乘らず今週六十三圓に寄り三十錢を高値に二圓八十錢と引け三十錢安來週は二圓七十錢に寄り四十錢安値七十錢を引け七十錢高仁取川筋の買物を喚して三四圓方品勝せび二圓安京信は六十錢高を寄り四十錢付け京信は今週二十七圓十錢に寄り一圓安來週は四圓五十錢を引け一圓安來週は四十錢

方反撥

ヂリ／＼引上げ八圓五十錢と引け八十錢安來週は七十錢高見せ引際八十錢と寄り跡底入れ思ひの買物に寄り週七圓二十錢と寄り九十錢と引け一圓方の上向

大新

大新は大阪の七十錢安

五圓十錢

四圓九十錢高

後場は硬調

後場は京取今週二圓七十錢に寄り八十錢ありて三圓と引け二十錢高來週二圓八十錢と寄り七八十錢を小戾し合大引五十錢と打止め二十錢安仁取一割安を示したが京信は前場下押しの反動に押目買旺盛を極め今週四圓十錢と寄り五圓十錢に寄り十錢高七十錢し來週四圓八十錢に始めヂリ高を續けて六圓と引け一圓二十錢方反撥大新は今週百八圓十錢と付け二十錢高來週四十錢に寄り三四十錢を採み四十錢と引け一圓高を告げ概して好調を呈せり

京取 前場

京取（今）	六三、七〇 ⊖八〇 九〇
（來）	六二、八〇 七〇 ⊖
京信（今）	三五、〇〇 四、八〇 九〇
（來）	三五、〇〇

後場

京取（今）	六三、〇〇 七〇 九〇
（來）	六二、八〇 七〇 ⊖
京信（今）	三四、一〇 五〇
（來）	三一、〇〇 五〇
大新（來）	一〇九、四〇 五〇 四〇

前場

京取は不氣乘閑散に大新は十二圓八十錢の一本値に終始せり內地の反撥を入れ六圓六十錢と高値に寄り七圓四十錢高なり五圓五十錢

短期取引

出來高甲	四千百二十枚
乙	九千四百六十枚
累計甲	三十萬八千十枚
乙	三十三萬三千三百四枚

後場

京取は珍らしくも出來不申に了り大新の獨り鮮望にて百七圓七十錢と寄り八圓四十錢高に五十錢を引け一圓四十錢高其他は全部出來不申

出來計	二萬六千二百九十枚
累計	二千三百枚
受渡	百八十枚
受渡	千三十枚

大新證據金改正

京取市場短期取引の大新證據金は本日後場より實施せり

短期出來高記錄

短期取引は昨日來の大新波瀾に伴ひ出來高激增し本日の出來高は二千百九十枚を算し開業以來のレコードを作れり

仲買人總會

京取市場仲買人は二十四日後場引後市場樓上にて總會を開き左の事項に就き協議し會社側に交涉する筈なり

一、市場代理人一名當分の間短期取引專門として增員すること

二、市場の賣買手數料は附出の場合に限り之を半減すること

三、留株式を提供し假佛を受けたる場合は其の分に對する證據金は之を免除すること

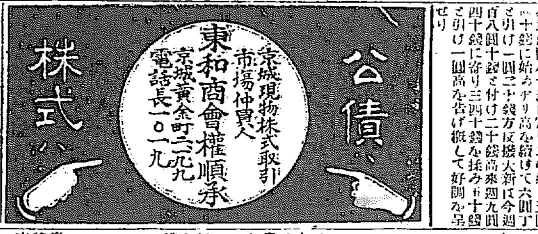
四、算定超過金は各仲買店に其の都度要附を受くること

五、受渡當日の後場は休場すること

六、其他市場の振興策に就いて最善の協議をすること

京取今期配當と來期の豫想

京取の今期業績は總出來高月末迄百三十萬ことすれば從來手數料は一株八十錢（最近は十錢以上）多しと見て二十萬圓の收益あり之れに運轉資金十二萬圓に對する日歩二錢五厘として日數百八十三日間に二千三百六十五圓の收入となり假佛金日歩は一時四錢に引上げられ現在三錢五厘なるを以て假りに三錢さすれば三萬四千三十八圓さなる之に家賃收入三千圓なり一千圓を加ふれば二十四萬六千餘圓の收益ありこれより營業費一日四百圓と見て五萬四千九百四十圓期臨時費三千圓所員賞與四千圓重役報酬五千圓法定積立五千圓計七萬七千九百圓を差引きして二十六萬八千圓の純益あり　假りに四割の配當するも十一萬



東拓社債使途

東洋拓殖が來月初旬一千萬圓の社債を募集するに決した此裏面の消息に就て會社側では瓜哇に土地を買收し珈琲及び護謨園を經營する外滿洲に於て特產大豆を精製し大豆油並油及び澤な等を精製し大豆油油及び其他の生產物の新事業を起さんとする計畫な（以下判讀困難）

當可能

二十圓の手數料收入

十六日　廿九萬九千五百

八割弱の配

新田耕市商店

大阪竹原商店總特約店
京城株式取引市場仲買人
京城黃金町二丁目市場構內
電話長五七〇番・一九六番

安取安入電

安取は別項特電の如く當限は十八圓六十錢處に保合を入れたるも先物は十六圓三十錢を入れ昨後場より二圓二十錢安を示せり

主要株步ミ値段

前場			
京取（今）	六三、〇〇	⊖一〇	三〇
（來）	六二、九〇	八〇	九〇
京信（今）	三五、〇〇	⊖四〇	五〇
（來）			
大新（來）	一〇七、七〇		

後場			
京取（今）	六三、七〇	⊖八〇	九〇
（來）	六二、八〇	七〇	

米況（二十四日）

仁川期米

前場買氣薄

昨後場阪地の不勢に氣崩れせし場面は二十一圓五十九錢と押しが再び買人氣を刺戟して當中出來ざるも先二十一圓七十錢と七百高に寄付き

▲第一節　當中出來ざるも先は二十一圓五十錢より先二十二錢に小下げ

▲第二節　當中出來ざるも先は七十錢五錢より十錢を唱へて跡大阪八十錢ベタ保合ひ

▲第三節　當中出來ざるが先は六十錢より買方の氣乘薄に五錢安

▲第四節　當中出來ざるも先は六十五錢と一錢に引

仁川米豆取引所仲買人 吉金仲買店

電話長八三番・八五番

在米益增加

秋派が唯一の持みとせる當市場の在米は內地各方面の買氣不引立の結果連日增加を示しつゝあるのみならず當地穀物協會の調査による昨二十三日現在六銀行の在米總數は三等合格二十萬五千五十四圓地積玄米二萬五千百九十一叺を算し前週月曜日に比し一萬四千

餘叺の增加を示し其他の合計十二萬石

內外の滯積

は動かすべからざる事實にて當係の物約に增加の一途にて鮮米の前途は憂ふべきものあり

賣買差引殘

賣方		買方	
⑦	四〇〇	⊕	九〇〇
⊘	五〇〇	▲㊉	四〇〇
○	五〇〇	▲方	二〇〇
▲三	〇〇	▲北	二〇〇
⊕	一〇〇	▲又	九二〇〇

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

仁川海岸町
電話長一〇九・二〇六番

〇二十四日前場

	寄付	止値	高値	安値
一節	二二・七〇	二二・六〇	二二・七五	二二・五九
二節	二二・六〇			
三節	二二・九〇			
四節				
五節				
六節				

▲廿三日後場　二二・八〇

	當限	中限	先限
前場公定値	二二・七〇		
後場公定値	二二・五九		

現在取組　一萬三千七百石
出來高四百七十四萬四千二百石

北島仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話長三一八番・三六番
支店電話一七二・二七二番

前情に絕へぬ次第である

京城正米市場

白米閑散

特に移出口は商談皆無にて其後電報さへ途絕勝ちの有樣で市中需要も取引れ居る有樣に附時に拔げあるも約一萬石の出來も市中は存み居り狀態

大豆

今朝の仁川相場は十四圓十一錢にて保合ひ

小麥

期米の手堅き傷め徐々好勢を示し一商の傷なし▲大豆の手持筋氣強く跡買物少なしも仁川著の二十三圓七十八錢處に人氣あるも此邊買人なく一般に跡高氣配を呈せり

期米雜觀

持

約八萬石內外の手

漸次思惑崩し

當市場に三萬五千餘石の手持を擁せる鎮南浦筋に近く鹿兒島方面へ其內一萬餘石を移出すべしとの說傳はる時は同筋が各產地にて買付せる分を合はせ約八萬石の手持品を擁して居る說もあり

定期大豆

採算買進み

買方一派は滿洲品の代用を憂へつゝある所へ今朝大連より現物百斤に付き二圓五十錢と云ひ三十錢と下げの報あり

▲第一節　中三圓九十錢より先九十八錢より四錢と寄り

▲第二節　中三圓九十九錢先三圓九十九錢より四十錢引け一節より三錢を投げる

公定一節	一三七五	
寄付	一三九五	止め
高值	一三八五	安値
賣入値段	中限 一三八一	先限 一三八七
出來高	中限四千百石	先限四千六百石
取組	六千百石	

仁川正米

內地期正米の浮動狀態なる當地の在米增加に益々閑散と薄きなり今朝は三等合格二十圓八十錢地增上安十九圓三四十錢見當を唱ふるも在外賣物薄の姿なり

大豆　水原三等十三圓二十錢長湍十三圓六十錢天安十三圓柄み郎山十四圓二三十錢を唱ふるも產地出廻り薄の爲め賣應する向少なし

釜山正米

內地期米の鎮靜に伴れ當市場も鎮靜の姿にて强保合を呈し三等神力二十一圓四十五錢良二十一圓六十五錢所にて二千五百八十叺の商內ありたり大豆も矢張り正米に伴れ强保合の十一圓二十錢所にて僅かばかりの商內ありたり（二十四日）

群山正米

六月中限二十一圓二十二錢より十三錢同末限三十三錢より三十七錢七月中限五十錢現物廿四圓八十錢（廿四日）

大邱正米

六月中限二十一圓四十五錢六月末限一圓七十錢七月中限一圓八十五錢現物廿四圓九十錢大谷十一圓八十錢（二十四日）

東京期米

〇廿四日前場先限 二七・八二 ／ 廿四日後場先限 二七・七九

	前場	後場
寄付	二七・八二	二七・七九
二節	八九	七六
三節	八八	
四節	八六	七一
五節	八八	七一
六節	八八	

大阪期米

	廿四日前場	廿四日後場
當寄	二六・四二	二六・四〇
止め	二六・三一	二六・三九
中寄	二七・二九	二七・二〇
止め	二七・二四	二七・二二
先寄	二七・九六	二七・八五
二節	九四	八三
三節	九七	八一
四節	八四	八二

兵庫期米

	廿四日前場	廿四日後場
寄付	二七・六〇	二七・五六
止め	二七・六六	
五節	八五	八五
六節	八六	八三
七節	八五	八一
八節	八四	八二
九節	八四	八五
止め	八三	八一

下關期米

〇廿四日前場

	寄付	止め
當限	………	………
中限	二六・一九	二六・一七
先限	二六・九〇	

廿四日後場　寄付 二六・〇九　止め ………

各地期米

〇二十三日後場止め

東京	二六・七〇	大阪	二五・九九
兵庫	二七・五〇	下關	二六・〇五
桑名		名古屋	二七・〇四
熊本		金澤	二六・〇〇

大阪三品

倫敦銀塊三十三片八分七米棉十十錢安

	〇廿四日前場寄付	前場大引
五月限	三〇八・九〇	三一〇・一〇
六月限	三一三・九〇	三一二・〇〇
七月限	三一三・四〇	三二四・〇〇
八月限	三二〇・七〇	三二四・〇〇
九月限	三二五・五〇	三二五・五〇
十月限	三二五・五〇	三二六・〇〇

	〇廿四日後場寄付	後場大引
五月限	三三〇・一〇	
六月限	三三〇・四〇	三三六・〇〇
七月限	三二七・九〇	
八月限	三二七・〇〇	
九月限	三二七・〇〇	

田中金兵衛商店

期米賣買の御用命は本店へ
仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
電話長三五八番

運絡船乘客

〇廿二日壹岐丸 一等（二名）早部…… 海に高く夫より南北に向ひ漸減

〇二十四日朝氣壓は朝鮮及び日本海に高く夫より南北に向ひ漸減しつゝあり全鮮晴天にして靜穩

男女交際法の魔術的極意

▲相手の心をつける心の活殺自在▲觀相讀心術

胸に想ひを持ち乍ら云ひよるも知らぬ悲しさに機のあわびの片思ひ世の中は金や顏形ち許りで手に好かれるものではない相手に好かれたい人は一日も早く本書を讀め本書は世に有りふれた類書と異り一寸した極意で相手の心を引つけ活殺自在一讀唯

して世の中を心行くまでお樂み下さいあれ昔しやイモリの黑燒き今じや本書の外になし來れ風流先生苦心の…

大好評◉四六版クロース金文字入の特製の美本正價壹圓八十錢の處特價八拾錢「マツチ」送料二十錢此際申込次第配達（本書は引換にて入用の方は一通にて日に記入）前金送料不用尙此際限り男女必讀珍書『代理部』を進呈す東京市小石川區本町二十六　振替東京五五五二番　大榮堂

美人寫眞

春の眺めに秋の夜長に

▲極色係美人寫眞十二枚一組四圓▲乙種百一枚入十二枚一組八十錢外に數十種あり書目錄送呈す 大阪市南區日本橋筋二丁目 振替口座大阪四四〇六〇番 菊水堂

井上醫院

珍往一時より入院隨意
京城紗帽町 電話一三三番

りん病

多年の慢性でも只一劑でヨクナル　は治る　男女に無代で致ゆ切手三錢送れ人助けの名古屋市南かじや町　武藤龜吉

淸酢

名古屋笹田本店吟釀

登錄商標 マルカン印

特約販賣 京城明治町二丁目 株式會社京城支店 電話一八四・四九五四番

廣瀨大橋商店

定期 現物

東京株式取引所仲買
諸公債株式現物問屋

信用 當店（如何は當店取引銀行三菱銀行丸ノ內支店に御問合せ被下度候）

營業案內、證據金表、株式日報御報次第贈呈

東京市日本橋區南茅場町

電話振替 東京三五五三番 （ヒ）又は（ヒロ）トウケイヒロ 私書函 日本橋局第十八號

電話 長四三一七〇二、長四〇〇〇、長〇〇九、長八四二三、長八〇三三、長一九二〇、長七二二、長三八二〇、長三二三

定期賣買委託證據金は規定通りにて前受の事

株式會社天津取引所株式 特價提供

天津は支那首都北京を距る鐵路三時間北支那地方の中心市場にして豐富なる物資の集散を掌る一大商業地たる事は世人周知の所でありますが然るに我政府の認可を得たる取引所は六ケ月（一ケ年の法律に準據し天津日本租界を公正確實に至る迄其本取引所も是非株を特に保護なる確實なる事業を營むべく此際一株百圓を公開し以て目下證券同期に設立せしめたる御愛顧に報ゆる爲め特に千株を提供せりに至急御申込あらん事を祈る

一、提供價格（株權利付壹株ニ付）廿二圓　一申込手附金二十五十圓
一、提供株數　壹千株　一、受渡期日六月十五日後
一、申込株數 單位十株以上　一申込締切日滿株次第締切

合名會社尾崎商店
大阪市東區博勞町二丁目堺筋
振替口座大阪五二二〇番
長電話 一一〇・二二四番 市場專用本局 五五一・五五九・五五六番

警告

相談役 男爵 林忠一

御申込ハ其店舖ノ責任者ト店主ノ人格チ充分御取調カ緊要ト存候玉石混同ナキ樣願候

北支那天津取引所株式ノ件ニ就キ

東京市外伏見町通大手筋 福知山町 一番地 伏見出張所
口座大阪八一五一七 電話伏見七〇九番

支店出張所同樣に候間御附近の方は支店出張所に御相談被下度候

一公債ハ百圓ヲ六拾圓ニ取引價券八拾圓ヲ六四トシテ現金同樣扱マス

下關支店　福知山支店　廣島支店　岡山支店　神戶支店　東京支店

小額資金責任配當

弊店從來資金百圓以下ハ取扱不仕候處各位ヨリ切ニ小額資金ノ取扱チ熱望セラレ特ニ左ノ條件ヲ取扱可申候

壹口金五拾圓

第一回 責任配當附取扱開始

差支ヘアリマセン ハ各口申込マルモ一人ニテ幾口申込マルモ 期間中ニ反シ候間御取扱不申候

期間 五月廿八日ヨリ八月廿八日マデ滿三ケ月間

責任配當 五拾圓ニ付 拾圓以上 及ビ從來ノ成績ニ弊店主

萬圓以上ハ弊店主主義ニ反シ候間御取扱不申候

○發送金ハ御申込ハ本支店共振替口座ニテ御拂込下サイ電報爲替デ一振替口座大阪ニテ御取扱局名ト送金理由ヲ記入

大阪市北區北濱（株式賣買）（無限責任）石井正忠商店

電話 北濱一八〇・五六・三〇〇・一〇番 長四・三六〇〇・三八四番 本局三三・三六一二番 振替口座大阪五六二番

東京市本鄕區台町三十九番
電話小石川一二九 振替口座東京五五六一 番
神戶市相生町 四丁目
電話 長 二二三九 振替口座大阪一五七一八番
岡山市上之町 電話長一九一 振替口座一二 番
廣島市天神町四十八番 電話長一三〇四 振替口座一〇九番
下關市入江町 電話長三七 番
福知山町　伏見

OSAKA STOCK EXCHANGE

大阪株式取引所仲買人
公債株式定期現物

株式の讀物を買ひ利ならずや其仲買界の最も信用ある人に依賴しなければ今日本界の投資は何等の苦心あるも各種の安全確實なる調査を遂げたる事務所に充分なる設備を有す

BROKER. MIZOGUCHI & Co

大阪東區北濱二丁目

溝口恒三郞商店

電話 長 四〇〇・五六六〇〇、五八三九四、一七七八二 電略 ミゾ、はシ

慶安太平記

小金井芦洲講演

第一八九席

其内に清水八郎は鞍馬八流小太刀の使ひ手、刀を取ると裏手から掛つて來た多くの捕方を相手に必死の戰ひでございます、何れも名題の達人なれば面々『御用〳〵』と叫んで寄せては返す大浪の如く何時果つべしとも相見ゑませぬ、是りやァ然うでげせう、一つ前に飛出して遁がれ悪ければ彌右衛門の轍を踐まなければならない、誰だつて命は惜いから躊躇をいたします、併て忠彌の妻のおれんは先刻からの有樣に れ『ア、僧は大事露顕す』と思つたから、著物の裾を甲斐々々しく端折り、白綾の後鉢巻手早く承塵にあつたる薙刀を取ると小脇に搔い込み、忠彌の母の居間へ參じました、もう此時は阿母さんも起きて殘らず寢具や何かを取片付けて穩かに母樣、お眼覺めでございます「御かい れ『オヽれんや、是りや何事かい 母『夜中の變事、嘸かしお驚きでございましたらうが、豫て旦那樣は牛込榎町由井正雪殿と謀叛を企て而も江戸表の大將をなつてお居での由は、私も仔細あつて存じて居りましたが御老年の母上に申上げ御心配を掛けてはならぬと存じ、今日まで差控へて居りましたが、何か事あれば新入いたする卑怯者があつて事顕はれ、愈明日事を舉げやうと言ふ今晩に至つて御捕方の者が向ひました、私も幼少より實父の傍らに在つて、不束ながら薙刀の一手は心得て居ります、大忠彌殿に一臂の力を添へて捕方の者を片ッ端から斷倒しませうと心得ますが如何でございます、一應御伺ひ申致します』流石は兵學者平井一角の娘のれん、勇ましくも健氣に斯う言つた時に落付拂つて端座をしてゐた阿母が 母『イヤれん、お前が良人のために力を添へるといふことは健氣には違ひないが、決して短氣のことを致してはなりませんぞ、女は女らしきを以て好いと致してあります、忠彌が捕方の手に掛つて相果てたとなつたらばお前と私は共に自害を致しませう、忠彌が縄目を受けたとなつたら悪びれずに瀧に掛らう、先づ方々が成行を聊か見なすつたが好からう、一服進ぜませうから心の落付く樣に先づ呑みなさい』と幸ひ煮ゑも付いて居りましたから手許を狂はず澁茶を立つて差出しました、妻のれんも據ろなく薙刀を傍に置いて茶を啜つた して居つた、する中に縁先に立上つて悪鬼羅刹の如く大勢を相手に亘つて居りました清水八郎、幾ら充分に働くと言つても向ふは入れ代り立代り新手が出る此方は一人ですから是りや敵ひませぬ精氣が盡きて少し眼が眩んで來て、ヤッと突出す一ト太刀は空に流れて前へヨロ〳〵、左の足を踏滑らせて椽側から庭へ蹴と落た 八『これはしたり、殘念…』と起上がらうとしたが最う遲い群がつて來た人數の爲に身體は鞠の如くに縛められ、八『チエッ、殘念…無念…』と齒嚙みをしたがモウ詮術もございませぬ、捕方が奥深くへ這つて來て見ると言ふと燈火は誠に冴やけく點て端然と座を構へて茶を呑み廻して居るのが忠彌の妻れんと阿母だ、此の豪膽には何れも氣に取られて前に進み兼ねた、靜かに見返つた母親が 母『これは方々、お役目を以て御出張に相成つて誠に御大儀千萬に存します、私共は御覧の通りの女子、決してお手荒いことをなさいますな、御手向ひは致しませぬ、先づ不手前ながら粗茶一ツ服召上れ 一同『へエト』と言つて徒、驚いたが、何うして茶などが呑めるのではない、暫らく躊躇つて居りまする

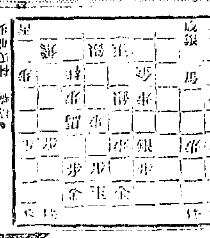
河原寫眞館 電話二九八一番

五月廿六日（舊曆四月十九日）
▲木曜日▲己丑▲二黒▲暗剣未申▲佛滅▲斗宿▲成

▼二黒▲不自然な事多き日此細なる問題も等閑に附すべからず
▼三碧▲面倒なる要件を持込まれ易く悪癖を寄したくなる日
▼四緑▲紛紜の起る日常の事は行うて吉女子は行儀を守るべし
▼五黄▲物事成りはしても利に疎く眠して控目にして損を免かる
▼六白▲信用を附す日起業開店等は固より養女養子を定むる吉
▼七赤▲幸運の日若し低きに安んぜば後日高きに上る因となる
▼八白▲合點の行かぬ事ある日輕擧と妄動を愼みて損害を免る
▼九紫▲何事も極めて順調に運び捗すべく大事件を片つくるに妙
▼一白▲物事の行違ひを生ずる日新事は見合せて利害事は平穏

人參王
京城本町壹丁目 電話一八〇〇番 一八七〇番
㋡津村兄弟商會

將棋新手合（完）
於京城將棋會席上
平手
二段▲林 玉之（龍山）
初段△岡田 勝敏（龍山）
〈持駒〉



手順前略
△五六馬▲八六飛△七六歩▲九飛（ル）△七五歩▲六九飛△五七玉▲七八龍△六四桂▲六三玉（チ）△四一角▲五二玉△五一角ナル▲六四玉△七四馬▲五三玉△五二金迄にて 岡田氏之勝
満鮮木七段講評
▲（ル）八九飛なる悪し此處五七歩と打つ處なり
▲（チ）六三玉は見落しならん五三玉と上れば詰みなし

京城明治町二丁目
佐々木胃腸病院
入院隨意 電話一六五九番

汽車 [illegible]

貯藏所在地

一 純良無害朝鮮天然氷

▲氷賣出

飲料用、冷藏用

朝鮮 龍山、仁川、釜山
滿洲 大連、旅順
内地 長崎、伊萬里、博多、下ノ關

右氷ハ總督府衛生課試驗濟ニ有之精々廉價御便利ニ御賣リ致候ニ付多少ニ拘ハラス御用命被下度候也
追而御用ノ節ハ最寄リ取扱店若クハ本社ヘ御通知被下候ヘバ早速御回答又ハ御伺可申候

大正十年五月

京城府龍山元町二丁目六十五番地
朝鮮天然氷株式會社 電話長五五一番
長崎市本五島町二十九番地
朝鮮天然氷株式會社長崎出張所 電話一五七〇番
門司市小森江南本町九番地
代理店 岡本茂一
博多市驛前辻ノ堂町
代理店 共同販賣所
佐賀縣伊萬里町
代理店 水産會社
釜山港大廳町二丁目二十二番地
代理店 小林商會 電話長一一四番
滿洲大連市海岸通
代理店 滿洲水産會社
仁川港本町二丁目
出張員詰所 足立組 電話長九一五番

CALMOTIN

神經衰弱・不眠症特効 カルモチン

確實なる効力と、絶對の安全を確認せられたる優秀なる神經衰弱、ヒステリー、不眠症の治療劑!!

【新發賣】 錠一錠中 カルモチン〇・二グラム含有、三十錠入 百錠入（本錠劑は總べて普通藥に屬す）

【文獻郵呈】

發賣元 大阪市東區道修町二丁目 武田長兵衛商店
關東代理店 東京日本橋區本町三丁目 小西新兵衛商店

全國知名藥店に販賣す

EUKIRIN

神經衰弱特效 ユーキリン

種類 粉末 二五瓦入 錠劑 一〇〇錠入 注射 一〇個入

本品ハ本邦蛋白化學ノ泰斗タル帝國大學教授鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ
本品ハ營養ヲ增進シ神經衰弱、陰萎、營養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス。（說明書アリ進呈ス）

本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街
三共株式會社

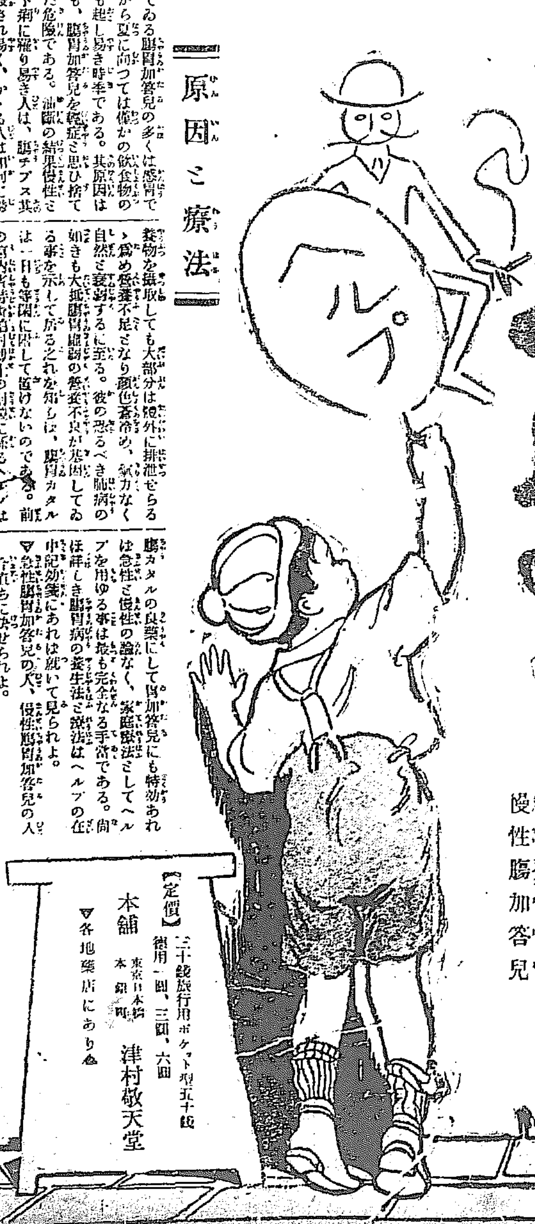
流行と賣行

が目下頻りに流行してゐる腸胃藥の賣行は何としても

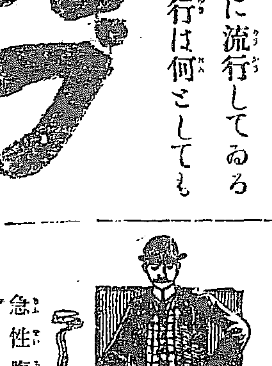
腸胃カタル

柏村博士創製 理想的腸胃藥

ヘルプ



急性胃加答兒、慢性胃加答兒
急性腸加答兒
慢性腸加答兒



―原因と療法―

昨今流行してゐる腸胃加答兒の多くは感冒であるが、今から夏に向つては僅かの飲食物の不注意からも起し易き時季である。其原因は何れにしても、腸胃加答兒を輕症と思ひ捨て置く事は甚だ危險である。油斷の結果慢性となりて常に下痢に罹り易き人は、腸チブス其他の悪疫に侵され易く、かゝる人は如何に滋養物を攝取しても大部分は殆外に排泄せらるゝ爲め營養不足となり顏色蒼冷め、氣力なく自然と衰弱するに至る。彼の恐るべき肺病の如きも大抵腸胃虛弱の營養不良が基因してゐる事を示して居る之れを知らば、腸胃カタルは一日も等閑に附して置けないのである。前記腸胃病柏村博士の創製に係るヘルプは腸カタルの良藥にして胃加答兒にも特効あれは急性と慢性の論なく、家庭療法としてヘルプを用ゆる事は最も完全なる手當である。尚ほ詳しき腸胃病の養生法と療法はヘルプの在中記効箋にあれは就いて見られよ。
▼急性腸胃加答兒の人、慢性腸胃加答兒の人は今直ちに決せられよ。

【定價】三十錢旅行用ポケット型五十錢 徳用一圓、三圓、六圓
本舗 東京日本橋本銀町 津村敬天堂
▽各地藥店にあり▲

まあ！お美しいこと!!!

とほめられるお方は 十人が十人

最高級クレーム

ホーカーオナー

御愛用のお方です

（定價 大六十錢 小三十五錢）

初夏の日ヤケ肌アレを防ぎ常に白百合の純白と清香を保つ最新美身用クレーム、ホーカーオナーでお肌の生地を整へ……

純無鉛 白さの異ふ

ホーカー白粉 定價三十六錢

でお化粧なさつてこそ

千人が千人。萬人が萬人に美人と謠はれます

東京神田和泉橋
堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一四五 振替東京一一五六